



高知大学
Kochi University

2008



Faculty of Humanities and Economics



Faculty of Education



Faculty of Science



Medical School



Faculty of Agriculture

知と個性が織りなす潮流

ここには毎年、ありとあらゆる個性が集まってきます。
出身地も言葉も習慣も違えば、考え方や感じ方、
興味の対象や好みも異なる多種多様な個性、個性、個性・・・
それらはここで、自分とは違う多くの個性と出会うことによって、
より豊かでより新たな個性へと成長していきます。
いろいろな人との学問的交流や人間的関わりを通じて
新たな視点や世界観を獲得したり、
実践的行動を起こすことで
さらなる夢や目標を見いだしたり
それは大洋を流れゆく潮流が、
あらゆる分岐と合流を繰り返しながら
新たな生命を生み出し、
やがて大きなうねりとなっていく様にも
よく似ています。

ようこそ、高知大学に。
ここは知と個性が織りなす潮流のまっただ中。
あなたもこのはかり知れない可能性の大海に、
一緒にのりだしてみませんか？

Contents

土佐の風土	— 3
高知大学の学び	
理念と目標	— 5
教育課程	— 7
共通教育	— 8
教育システム	— 9
Watching 学生の視点	— 11
各学部の紹介	
人文学部	— 15
教育学部	— 21
理学部	— 27
医学部	— 33
農学部	— 39
大学院	— 45
国際交流	— 47
研究プロジェクト	— 51
教育研究施設	— 53
学部附属施設	— 56
キャンパスライフ	— 59
就職活動支援	— 67
学長あいさつ	— 71
DATA	— 72
入試課からのお知らせ	— 75
MAP	— 77



高知大学 学章

未来に向かって飛躍する希望に満ちた高知大学の
イニシャル「K」をモチーフに、太平洋の波濤と黒潮
を青色、若者の可能性と大空を空色でそれぞれイ
メージ。躍動感溢れた「高知大学」を表現しています。

頭をからっぽにして聞け

その殻を破ってほしい

全部手を出せ

だからまず興味をもってもらう

羅網の中から解が生まれるように

ミクロな目とマクロな目が一体化 継続の力

判断していく

大命題

非常に冷徹に理解して

これは至上の喜び

視点を養う

種火はついている

現場こそが研究の場

寛容性がある場

自分は何者か

自らがアクションを起こしていく

Thinking

Philosophy

Posterior

対話する姿勢

混沌としている

自分に忠実

現場からの課題

語らしめる

原点になるのは体験

人の話を疑え

自分で門をたたく

自然をどう捉えるか

最終は条件として

異文化

クール

情熱的に

一方でクールに、一方で情熱的に
とことん信じて突き進む

自分たちでイメージして

「異文化」

自分がどう動くか

既存の学問範囲から飛び出して

事実はそのに出ている

反省すれば当然進歩がある

それが無意味

心を閉ざさない

価値

同じくらいの価値がある

人間をつくる場所

結局は自分を見つめている

その中から自然と自分の道が

何かが生まれる

持続的に

目的意識

どちらかの結論を得ることができる



SENSATION

QUALITY

土佐の風土

Geographical features of Tosa



180度の水平線が広がる土佐湾。沖合には遠く東南アジアから流れ来る黒潮の嘗みがあり、海底には世界でも有数といわれる活断層の分布が見られる。

史・人・言

背後にそびえる険しい山々によって隣国との交流が阻まれてきた土佐では、それゆえに独立心旺盛な自由の精神が育まれてきました。一方で、南には途方もなく広がる太平洋を望み、黒潮によって流れつく様々な異文化の断片は、新しいものへの興味や変化への期待、他者を受け入れる懐の深さという土佐人気質につながったと言われています。その気風は、物事の均質化が加速する現代においても、他と違うこと、中庸でないことに価値を見いだす精神風土としてしっかりと根付いています。



野中兼山(1615~63年)
江戸前期の南学派朱子学者・政治家。谷時中に学び、土佐藩家老を30年間務めた。農桑の奨励、室戸港の開掘、農業用水路の敷設など、数々の殖産事業を手かけた。



ジョン万次郎 [中浜万次郎](1827~98年)
現在の土佐清水市に貧しい漁民の子として生まれたが、1841年出漁中の遭難で捕鯨船に救出され、アメリカに渡った。同国で教育を受けた後51年に帰国。その経験と知識を買われ、ペリー来航に際しては幕臣に登用され翻訳、通訳に従事。西洋諸国の先進ぶりを国内に伝え、開国派に大きな影響を与えた。



坂本龍馬(1835~67年)
幕末の志士。勝海舟に航海術を学び、1864年長崎で日本初の株式会社亀山社中(のちの海援隊)を結成、貿易と海運に従事した。66年には薩長同盟を実現。海外の事情に通じ、公議政体論を唱え大政奉還を成功させた、いわば明治維新の陰の立役者。死後130年を経た今も、その行動力、独創性、先見性ゆえに幅広い世代から支持されている。

山・川・海

荒々しくも美しい自然に囲まれた土佐の国。しかし単に自然が豊かというだけでなく、地球的な目線で見て土佐をとりまく自然環境が実におもしろいという研究者が多くなります。自然科学、人文社会科学など様々な視点で研究・教育を行っていく上で、高知県という地域はいくつもの非常に恵まれたフィールドを抱えているのです。



今でも多くの自然が残される土佐の山間。四万十川をはじめ、人と自然が共生する暮らしが最先端のスローライフともてはやされるが、ここではごくあたりまえの姿である。



中岡慎太郎(1838~67年)
幕末の志士。土佐勤王党に名を連ね、江戸で尊攘運動に参加。脱藩後は、高杉晋作や桂小五郎と交友を深め、薩長同盟実現をめざし奔走する。京都にて陸援隊を結成するが、維新を目前にして、坂本龍馬と共に暗殺された。



板垣退助(1837~1919年)
明治時代の政治家。大政奉還に奔走し、明治政府の参与・参議となる。征韓論に敗れ下野し、自由民権運動の中心的人物として活躍。立志社、愛国社設立に尽力し、1881年自由党を結成、総理となった。



牧野富太郎(1862~1957年)
植物学者。子どもの頃からの植物好きが高じ、独学で研究を続ける。著作に「日本植物図鑑」等があり、日本人として初めてヤマトグサに学名をつけるなど、日本の植物学を世界レベルにし、その基礎を築き上げた。夫の研究を支えた寿衛子夫人に感謝の意を表し、新種の笹にスエコザサと名付けたエピソードからも、彼の温かい人柄が偲ばれる。1957年文化勲章受章。



寺田寅彦(1878~1935年)
明治~昭和の物理学者・随筆家。東大教授。実験物理学・地球物理学に業績を残した。学問研究のかたわら文学にも傾倒し、夏目漱石に師事。雑誌「ホトギス」に写生文・俳句などを発表。特に科学随筆にユニークな着想と新鮮な機知を示した。



大原富枝(1912年~2000年)
高知を代表する女流作家。1938年に「文芸首都」に寄稿した作品が上半期芥川賞候補となり、上京して文筆活動に入る。1957年、「ストマイつんぼ」で第8回女流文学者会賞、1960年には、「婉という女」で野間文芸賞、毎日出版文化賞を受賞。1970年「於雪 一土佐一家の崩壊一」で第9回女流文学賞を受賞。また、1990年には勲三等瑞宝章を受けた。



高知大学の学び

大学での学びには、まず学生自らが積極的・主体的に取り組んでいくこと――

自学自習の姿勢が必要です。

そして教員には、学生からのアクションに対し

それ以上の熱意と高度な知識技術・教養をもって応えていくことが求められます。

つまり大学とは、学びたいという意欲とそれに応える熱意と学識とが出会う場所。

この出会いこそが、すべてのはじまりなのです。

高知大学の理念

高知大学は、教育基本法の精神に則り、国民的合意の下に、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実・発展を推進します。

高知大学の目標

高知大学は南国土佐の自然と風土に学び、未来を展望した知の創造と学術の継承・発展を通して、人類の持続的発展と地域社会へ貢献することを使命として、以下の目標を掲げます。

人材の育成

21世紀の知識創造社会で活躍できる人材の育成を進めます。そのため学部では総合的学識と深い専門的学識を身につけ、かつ人間性や社会性に富んだ活力ある人材の育成に努めます。大学院では日本や世界が必要とする高度専門職業人の養成をはかるとともに、特定の分野において世界の学術研究をリードできる研究者を養成します。

社会貢献

基礎科学と応用科学の領域横断的研究を通じて社会に貢献します。地域の中核的総合大学として、総合的な学術研究基盤を維持発展させるとともに自然、文化などの地域特性を活かした研究を推進し、「資源探索・開拓」、「先端材料開発」、「人類環境共生科学」、「海洋コア」、「先端医療と高齢者医学」、「黒潮圏科学」及び「フィールドサイエンス」の各研究に特化した先端的で国際的な教育研究拠点を形成します。

地域連携

地域における国立大学として、若い世代や国民のための斬新で魅力的な高等教育機会を提供しつつ、地域社会との産官学連携研究を推進・発展させることにより、持続的な地域社会の発展のための研究成果及び専門性に富む人材の供給基盤としての役割を果たします。

国際貢献

アジア・太平洋地域を始め世界の国々、特に発展途上国との教育研究協力活動を推進します。これらの国々の大学との研究交流、学生交流活動を推進する中で、世界の文化の発展に貢献します。

高知大学のキャッチフレーズ

Chance ――― 好機
Challenge ――― 挑戦
Change ――― 変革
Create ――― 創造

独自のカリキュラム

高知大学では、在学する4年間（医学部医学科は6年間）を一貫した教育課程と捉え、知識偏重ではなく実践型の学びを重視する先進的なカリキュラムを構成しています。

教育課程

「教養教育終了後、専門教育に移行する」という従来の二段階教育課程から脱却し、在学する4年間（医学部医学科は6年間）を一貫した学士教育課程と捉え、幅広い教養と深い専門性を身につけ、総合的な判断力と柔軟な発想に基づく課題解決能力を修得できる教育課程を編成しています。

教育課程は全学共通の4つの教育科目に区分し、学部・学科・課程ごとの系統的なカリキュラムで構成されます。



平成20年度から教育課程および共通教育が変わります。
詳しくはホームページ等にてお知らせします。
<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

基軸科目

4年間の学習のための基本的な知識と技法を身につけ、自ら考えて表現する姿勢や問題を探求する能力を発揮できるよう指導します。具体的には、大学学、日本語技法、大学英語入門、英会話、情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、健康の7科目が、学部学科を越えて全学共通に開講されています。

教養科目

文化、社会、教育、生命、自然、生産・産業に対する興味や関心に基づいて授業科目を選択し、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的な課題に目を向け、人間として豊かな教養が育まれるように指導します。

基礎科目

高度な専門的学習に向かうため、学部を越えて共通に必要な個々の学問領域に触れ、総合的で自主的な学習能力を養います。

専門科目

各学科・課程・コースの特色を反映した専門教育のための授業科目からなり、卒業研究（論文）・卒業制作へ発展させられるように指導します。

共通教育

共通教育は「人間と世界についてしっかりとした考え方をくり上げ人格の完成をはかること」を目的とし、基軸科目、教養科目、基礎科目の3科目群から構成されています。授業は講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、学生は実践の中で自分自身の幅を広げながら教育コース決定へのプロセスを踏むことができます。

基軸科目



教養科目

■ 6 系列

教養科目は、文化、社会、教育、生命、自然、産業・生産の6系列からなっています。自らの興味や関心に基づいて選択し、幅広い教養や多角的な物の見方を身につけます。

■ 外国語

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語（朝鮮語）、スペイン語の6ヶ国語を開講しています。それぞれ読解中心または会話中心ですが、外国語の学習を通じて、異文化理解を深めることができます。

英語については1年生のときの英会話の成績優秀者について更に英語によるコミュニケーション力を上げるように、外国人教員による科目が用意されています。

基礎科目

学部を越えて共通に必要な基礎的な科目を配置しています。人文・教育、社会・生活、自然、医療の4分野からなっています。

自然分野の中には微分積分学、物理、化学、生物、地球科学について高校の補習的授業を配置しています。

英語については、1年生の英会話の成績優秀であった2年生以上を対象に、さらに実力を上げるため、外国人教員による英語集中クラス（週6コマ）が用意されています。

特色ある教育システム

高知大学では、現代社会のニーズをよく把握し、社会の求める人材を育成するために、「自由」「自律」「協働」を柱とした独創的な教育システムを構築し、高い評価を得ています。

学生支援の多様な取り組み

大学教育は学生の自主性があってはじめて成り立ちます。学生一人ひとりが自主・自律的に充実した学習ができるよう、高知大学では様々な教育システムを導入しています。

また学生の興味にそった多様な授業を用意するため2学期制を実施するなど、積極的にそのシステムの改革をはかっています。

学生アンケート・授業評価

毎年、授業や教育環境についての学生アンケートを行い、結果を公表するとともに、問題点の改善に努めています。

アドバイザー教員制度とオフィス・アワー

一人ひとりの学生に対して、きめ細かな履修指導や進学・就職指導ができるよう、アドバイザー教員制度をとっています。学生は、オフィス・アワーの時間に、あらゆる相談や質問ができます。

2学期制とシラバス

学生は1年間同じ授業に縛られることなく、年に2回受講登録ができ、より自由な履修計画を立てることができます。シラバス(授業ガイド)で授業内容をあらかじめ知り、授業計画の目安にすることができます。また、週に複数回授業を行う集中授業方式を外国語教育で採用し、教育効果の向上をはかっています。

高知女子大学・高知工科大学・放送大学・高知高専との単位互換

各々の大学等の授業を受講し、単位を修得した場合、高知大学で修得した授業科目として、認定を受けることができます。

補習教育

高等学校の教育内容の多様化や専門高校からの入学者のために、英語(大学英語入門S)・自然分野(例えば物理学の基礎)など補習教育を実施しています。



情報教育環境の利用

学生は、必携のノートパソコンで、自由に利用できる情報コンセント室(34室等、1919口)から、インターネットへの接続や電子メールの送受信ができます。

早期卒業

優秀な成績で卒業に必要な授業科目の単位を修得した学生に対しては、その優れた才能の一層の伸長をはかるため、希望により3年で卒業できる「早期卒業」の制度を導入しています。

学生の海外派遣

国際交流の一環として、カリフォルニア州立大学(アメリカ)、クイーンズランド大学(オーストラリア)、中国やタイなどの大学に学生を派遣しています。

留学先の大学で修得した授業の単位は、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

ティーチング・アシスタント

共通教育の実験科目や演習科目では、授業時間中、大学院生によるティーチング・アシスタントをおき、学生の理解をサポートしています。

現代的教育のニーズに対応した教育プログラム

高知大学発、日本初！ 自律協働入門授業とCBI授業

この2つの授業は、高知大学が開発し学外の組織や個人と協働して実施する、日本で初の授業です。これまでのいわゆる“知識”だけではなく、“生き方や学ぶ意義”を学べるのがこれらの授業の特長です。

自律協働入門授業は、1年生1学期にしか受講できません。これは入学生の方々に、より早い段階で輝く社会人と出会い、その後の大学生活をできるだけ充実したものに

してほしいという思いから。そしてCBI授業では、日本初の長期インターンシップを授業に組み入れることで、自律協働入門で培った“生き方や学ぶ意義”をさらに実践的に高めていくことができます。また、この2つの授業後も、高知大学独自の様々な教育プログラムによって、社会で活躍できる自分になるための手助けがしっかり行われています。

生き方や学ぶ意義を学ぶ！ 自律協働入門授業

Point 1 輝く社会人と出会い、生き方に感動！

授業の講師は、首都圏や県内から招聘した熱い思いを持つ社会人10名の方々。“インタビュー”という方法を通じて、輝く社会人の前向きな心を知ろう！

Point 2 自分を直視し、成長を喜ぶ

自分自身と深く向き合うことの繰り返しによって、人間的成長は促されます。授業では、自分の活動を振り返る時間をつくり、成長へとつなげていきます。

Point 3 チームで学び、思いを分かち合う

受講生10名と担当教員1名とでチーム（演習）を組み、半年間（1学期間）活動を共にします。少人数制だからこそチームワークが身につく、教員の丁寧なバックアップを受けることもできるのです。

■ 自律協働入門授業の流れ

1年1学期初め 入門合宿

- フォーラム（パネルディスカッション）
- 社会人寺子屋（夜なべ談義）
- 振り返りプレゼンテーション

まず、授業を始めるにあたって大事な準備として入門合宿を行います。パネルディスカッションでこれから何を学ぶのか、社会人と意見交換します。また、社会人寺子屋では、学生と社会人が気軽に語り合える機会を取り入れています。

1年1学期中

少人数演習（10名程度）

- 社会人インタビューのための準備
- 社会人インタビュー後の振り返り

社会人講義

- 学生による社会人インタビュー
- 社会人講話

繰り返し

本格的に授業が始まると、その中心となるのは学生による社会人インタビューになります。少人数演習では、インタビューのための準備とその結果の意味を理解することを演習で行います。社会人講義では学生によるインタビューと社会人講話が行われます。



1年1学期末 成果発表会

授業の最後には、これまでの活動の総括を演習単位で発表します。これにも十分な準備時間を用意し、これまでの活動を振り返ります。

長期インターンシップに挑む！ CBI授業

CBI = Collaboration based Internship

CBI授業とは、首都圏のベンチャー企業及び県内企業・NPO法人などで4ヶ月間の長期間、実践型のインターンを組み入れた授業で、最大14単位が修得可能です。授業はCBI企画立案（事前学習）とCBI実習（インターンシップ）、CBI自己分析（事後学習）の大きく3つから構成されています。

特にCBIでのインターンシップは1年生2学期から2年生1学期にかけて行い、21世紀社会で活躍する人に必要とされる“謙虚さ”や“社会性”について学べるのが特長です。また、CBI企画立案（事前学習）のみの受講も可能で、インターンシップ実習を行わないという選択もできるようになっています。それは、この授業が“自分なりのこれから進むべき道を見つけること”に主目的を置いているためであり、多様な学生に対応できる柔軟性を持ったシステムとなっています。

■ CBI授業の流れ

1年2学期 CBI企画立案（事前学習）

- チームビルディング
- 社会人取材
- 自分プレゼン資料制作

事前学習では、インターンに向けて重要なコミュニケーション力や、チームワークなどを磨きます。またインターンへの目的意識をはっきりさせる期間でもあつた。

2年1学期 CBI実習 I～IV（インターンシップ）

- 実践型インターンシップ
- 教員モニタリング
- キャリア開発講座（県内と首都圏）

インターンシップ中は、定期的な教員のモニタリングで皆さんの活動をサポートします。首都圏でのインターンについても、コーディネーター組織が企業と学生と大学の連携が速やかに取れるよう、協力してくれます。

2年9月 CBI自己分析（事後学習）

- 自己分析
- 成果発表

インターン終了後は、早い時期に自己分析を行います。インターン中に自分のどういふところが変わったのか振り返り、その成果を発表することで“インターンに行った”だけでは終わらせず、今後の大学生活につなげます。



未来へつながる、「今」

大学生として過ごす4年間は、
一人ひとりが未来への夢や目標を見つけ
それを実現する能力と精神力を身につけるための大切な時間。
誰の上をも同じように流れゆく時間、
その密度を決められるのは、あなた自身。
あなたなら、どんな時間を創っていきますか？



ボランティア活動の中で 生まれた目的意識。 それが自分を変えた

教育学部 学校教育教員養成課程4年生
ほんの 阪野 史裕 愛知県出身
高知子ども守り隊(通称:守るんジャー)
初代隊長

僕はこの1年間、地域の子どもたちを見守るボランティア活動に取り組んできました。会の代表をやっていたので、よく“優秀な学生”みたいに言われますが、全然そんなことはない!(笑)。どちらかというとその逆かもしれません。

大学3年まで明確な将来像も持たず、ただ何となく毎日過ごしてきて、周囲の友達が教師への夢を熱く語る姿を見て焦っていた自分。そんな時、全国で子どもが犠牲になる事件が多発しました。悲しいニュースを聞いて「何かできることはないか」と仲間うちで話し、翌日さっそく大学の学部長室と近くの小学校2校にボランティアの申し込みに行ったのが始まりです。

最初はそれほど強く使命感に燃えて・・・というわけでもなかったのですが、実際に動き出すといろいろな人との関わりが生まれ、その中で自分の意識も変化していききました。

学校関係者、教育委員会、保護者、朝倉地区の地域住民の方々など、様々な立場の人が活動の実現・継続に力を貸してくださいました。最初はバトロールといっても何の知識もなく道端に立っていたのを、大学の先生のアドバイスで警察から腕章や旗を貸して

いただきました。市長や県知事、県警本部長さんにも会いに行き、子どもたちを犯罪から守るためにどうすればいいか、一緒に考えたりもしました。そして、自分たちでも問題点をよく話し合い、見守りの方法や組織づくりなどいろいろ改良していききました。

当の子どもたちは・・・という、やっぱり最初は「この人たち、だれ?」みたいな反応でしたね(笑)。でも、ジャンパーを揃えて毎日顔を合わせていくうちに、親しくしてくれるようになりました。時々手紙をもらったり、「いつもありがとうございます」と言ってもらったりすると、「やってよかった」と嬉しく感じます。地域の方からも「ご苦労様」「ありがとうございます」と声を掛けていただき、その言葉だけでもすごくモチベーションが上がります。

大学生が子どもを守ると言っても限界はありますが、大切なのはそういう呼びかけをしていくことで、コミュニティを作っていくことだと思っています。それが犯罪に対する抑止力になっていくと思うんです。守るんジャーの活動は現在、高知から全国に広がって、香川、愛知、岡山、京都、福岡の6府県で350~400人くらいの学生による全国組織が立ち上がっています。僕はこのボランティア活動を通じて多くのことを学び

ましたが、一番大きかったのはこうして多くのいい仲間に出会えたことです。彼らから受けた刺激は、僕の生き方まで変えてくれました。活動を通して教育を取り巻く問題を話し合ったりする中で、僕ははっきりと「教師になりたい」と思うようになりました。遅まきながら精一杯勉強して、教員採用試験にも受かり、春からは地元に戻って教員生活が始まります。

これから大学に入学する後輩にひとつ僕がアドバイスできるとしたら、何でもいいから興味のあることに手を出してみ、自分のやりたいことを見つけてほしいということです。目的意識をはっきりと自覚することが、学びへの意欲を変えます。そこに早く気付いて、自身の濃い学生生活を送ってほしいと思います。





Close up



高知子ども守り隊とは・・・

教育学部の学生が中心となって立ち上げたボランティア活動グループ。地域の子どもの登下校時の安全を守るため、街頭での見守りを続けている。

<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/news/mamorunger.htm>



阪野くんの大学生生活4年間



1学期のある一日(朝倉キャンパス)



10:30~12:00
授業(講義棟にて)



12:00~13:00
昼食(食堂にて)



13:00~15:00
サークル活動
(サッカー、グラウンドにて)



15:00~17:00
ボランティア活動
(守るんジャー、小学生の下校見守り)



17:00~19:00
休憩(友達と)



19:00~22:00
アルバイト(塾で講師)

行動を起こすこと、やり通してみることに意義がある

農学部 農学科
海洋生物生産学コース2年生
飯田 敦子
東京都出身

子どもの頃から、海が好き。生き物が好き。特に海はどこか未知の世界で、ずっと興味をかき立てられていました。でも女子校だったので、農学部に行きたいと話した時は誰もその面白さをわかってくれなくて(笑)。

高知大学に来て最初の1年は、大学女子寮であるかつら寮で生活しました。門限は11時、掃除当番もあって規則は厳しかったですが、それ以上にみんな賑やかで楽しかったですよ。留学生や先輩、違う学科の人など、普通に過ごしていたら絶対友達になれないような人も友達になれました。

これまで一番印象深い出来事といえば、やっぱり「よさこい」です。「旅鯨人」という学生チームで、初・踊子体験をしました。実際に参加しての感想は・・・見た目以上にハード(！)だということ。夏休みもずっと練習の日々。帰省もほとんどしませんでしたね(笑)。本番近くなると、夕方6:00から夜中12:00まで練習した日もあったほどです。でも、祭りの後の達成感は参加した者だけが味わえる特権。メダルももらえたり、沿道の観客の皆さんが送ってくれるうちわの風があんなに気持ちいいなんて、やってみないとわからないことですよね。

学業に関して言うと、高知大学の最大のよさは、やる気さえあれば何でもさせてもらえるところ。去年の夏は、授業が面白かった先生の研究室に勝手に押しかけて、3・4年生に混じって実験をさせてもらいました。そんな無茶をお願いしても快く迎え入れていただいていた嬉しかったです。実験の内容はというと、

魚の病気に関して、遺伝子の配列を調べたりウィルスの進化の過程を調べたりするもの。入学時はまだ漠然とした興味でしかなかったものが、最近では具体的な目標や目的をともなって自分の中に湧き上がってきたような感じです。

大学は、自分が決意を持って行動を起こせば、必ず応えてもらえる場所。やろうと決めたことは、何が何でもやりきることに。勢いで始めたことでも、最後までやり通せば何かの結果が出ます。私自身は、それを一つの信念に大学生活を送っています。

2学期のある一日(物部キャンパス)

- 8:50~10:20
講義(専門棟にて)
- 10:30~12:00
講義(専門棟にて)
- 12:00~13:00
昼食(友達と食堂にて)
- 13:10~18:00
実験(学生実験室にて)
- 18:10
バイト、レポートなど



学生チーム「旅鯨人」の一員としてよさこい祭りに参加。

Academic Calendar

学年暦

- 4月1日 学年開始
- 4月3日 入学式
- 4月9日 1学期授業開始



飯田さんのおすすめは

「高知の夏の一大イベント。大通りや公園など市内各地の競演場を、各チームが工夫を凝らした振り付け・音楽・衣装で踊り歩きます。高知大学にもいくつかの常連チームがあるので、ぜひチェックして!」



よさこい祭り

4

5

6

7

8

9



入学式

8月7日~31日 夏季休業

医学部 看護学科3年生
西田 早織
大阪府出身

「なりたい自分」を持つことが、 未来の自分への第一歩

私が看護の道を志すようになったのは、受験直前の高3の冬。母親が入院したことがきっかけでした。母と看護師さんの強い信頼関係を目の当たりにし、それまで抱いていた「看護師は医師のお手伝い」というイメージが大きく覆ったのです。看護という仕事に間近で触れ、強く惹かれました。とはいももの受験予定は法学部……。合格もしましたが、どうしても諦められず一浪して高知大学に入学しました。海外の看護にも興味があって、昨年9月には1ヶ月間、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学に念願の留学を果たしました。授業だけでなく、患者さんとの関わりにおいても学ぶことは本当に多かったです。看護においては病気のことだけでなく、患者さん自身やその周辺のこと意識なくてはなりません。でも、価値観や文化、宗教などバックグラウンドの違いによってそれはものすごく多様なんです。「こんな考え方もあるんだ!」というようなことをいくつも経験し、自分もいろんなものの見方のできる人間になりたいと思うようになりました。

また、何でも吸収しようとする学生たちの積極的な姿勢にも衝撃を受けました。この時得た「自ら学び取る」という姿勢は、今も日々の実習などで活かせていると思います。

今の私の目標は、患者さんや家族の方を心身ともにケアできる看護師になること。特に急性期の看護に興味があります。そして経験を積み、ゆくゆくはボランティアとして国際貢献できるような医療従事者になりたいと思っています。実は留学先で出会っ

た人たちと、「次はボランティア先で再会できたらいいね」って話をしたんです。だからこれは必ず実現したい。

きっかけは何であっていいと思います。自分が「こうなりたい」という強い思いがあれば、それに近づくよう努力できます。私は高3の時出会った看護師さんや、今、大学で教わっている先生たちから、「なりたい」イメージを吸収している真っ最中(笑)。その過程を大切にしていきたいと思っています。



2学期のある一日(岡豊キャンパス)

- 8:00～ 病棟実習(附属病院にて)
- 12:00～ 昼食(友人と病院食堂にて)
- 13:00～ 病棟実習(附属病院にて)
- 15:00～ カンファレンス・実習の振り返り (看護学科棟にて)
- 16:00～ 学習(図書館にて)
- 19:00 帰宅



南風祭(みなかぜさい)

西田さんのおすすめは

「岡豊キャンパスの大学祭。医学部は人数がそんなに多くないので、違う学科・学年でも顔と名前を覚えて仲良くなるチャンス!最後の夜にはなんと花火も上がります。」



室戸貫歩(11月下旬～12月上旬)
元々は空手道部が心身の鍛練のために始めた行事。高知市朝倉から室戸岬までの約100kmを、夜を徹して歩くという過酷なレ・ス。

- 10月1日 創立記念日
- 10月2日 2学期授業開始
- 10月20日 南風祭

- 12月 イルミネーション点灯式

- 1月はじめ 寒中水泳

- 3月1日～31日 学期末休業
- 3月24日 卒業式

10

11

12

1

2

3



物部キャンパス一日公開

- 11月3日～5日 黒潮祭
- 11月上旬 物部キャンパス一日公開

日頃の研究教育活動、おもしろ実験や体験学習で地域の子どもたちに紹介するイベント。農学部は大学祭も兼ねており、キャンパスは一日だけの農学パビリオンと化す。



黒潮祭(くろしおさい)

阪野さんのおすすめは

「とにかく楽しい!のひとことに尽きる。朝倉キャンパスの大学祭。様々なイベントの他、学科やゼミ、サークルなどがそれぞれ個性あふれる模擬店を出店します。」

人文学部

Faculty of Humanities and Economics

世界最大の謎である
「人間」に挑戦する

学科名

■人間文化学科

- 人間基礎論コース
- 地域変動論コース
- 言語表象論コース

■国際社会コミュニケーション学科

- 国際コミュニケーションコース
- 国際社会交流論コース

■社会経済学科

- 総合地域政策コース
- 経済企業情報コース

取得できる資格

■人間文化学科

- 中学校教諭一種免許状(国語・社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・英語)
- 認定心理士
- 日本語教員養成副専攻課程の単位修得
- 学芸員

■国際社会コミュニケーション学科

- 中学校教諭一種免許状(社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・英語)
- 日本語教員養成副専攻課程の単位修得
- 学芸員

■社会経済学科

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
- 学芸員

求める学生像 Admission Policy

人文学部は人文科学と社会科学の総合学部です。

「人間」という存在を総合的に把握できる、「国際化」と「情報化」の時代に対応できる、「地域社会」の問題を理解し地域に貢献できる、そんな人材を育てたいと考えています。人間と人間がつくる文化や社会について旺盛な好奇心を持ち、課題に果敢に挑むスピリットにあふれた学生を求めます。

人間文化学科

哲学・心理学・言語学・史学・地理学・文学・語学などの人文諸科学に関心があり、人間それ自体や人間をめぐる歴史的・文化的環境、さらには多様化する現代の文化現象に興味を持ち、批判的な精神と創造的な力を涵養したいと考える学生を求めます。

国際社会コミュニケーション学科

地球市民としての広い視野と柔軟性を持ちたい。様々な国々と人々の相互理解の実現に貢献したい。それに必要な行動力、表現力や情報処理能力を身につけたい。地域の価値を、内側と外側の両方の視点から理解し、それを世界の各地へ向かって伝えたい。国際社会にネットワークを築き、世界の様々な地域の人々と連携したい。世界の人々と連携することで、自立したい。そんな学生を求めます。

社会経済学科

経済学・法学・経営学・会計学・政治学・社会学などの社会諸科学に関心がある学生、パソコンやインターネットを活用して現代社会の問題に取り組みたいと思っている学生、地域社会に関心があり、地域の総合的発展に貢献したいと考えている学生、企業とその環境に関心があり、情報収集・分析・処理能力を身につけたいと思っている学生、商業・会計・簿記・情報処理などの実務能力を専門的に身につけたいと思っている学生を求めます。



学部の大きな特徴は、学科間の“かきね”が低いこと。その気になれば、コースの枠を超えて、あらゆる領域を自由に学ぶことができます。

カリキュラム例 Curriculum

人間文化学科

■ 人間基礎論コース

西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、神話と比較思想、宗教哲学、宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認知心理学、発達心理学

■ 地域変動論コース

日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理学、自然地理学、方言学

■ 言語表象論コース

平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文学、ドイツ文学・文化、フランス文学

国際社会コミュニケーション学科

■ 国際コミュニケーションコース

異文化間コミュニケーション論、比較文化論（日英米独仏中）、文化史、文化論、オーラルコミュニケーション、文章作成研究、第二言語習得論、日本語教育法、実験音声学、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、心理言語学

■ 国際社会交流論コース

メディア文化論、社会文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本文化論、アメリカ文化論、ヨーロッパ文化論、中国社会文化論、大衆文化論、現代演劇論、世界経済論、西洋経済史

社会経済学科

■ 総合地域政策コース

経済政策、財政学、地方財政論、地域経済論、労働経済論、福祉経済論、環境経済学、公益事業論、国際経済論、開発経済論、比較経済社会論、地域社会学、憲法、民法、刑法、自治行政法、経済法、政治学、地域生活と政策、地域ジャーナリズム論

■ 経済企業情報コース

ミクロ経済学、マクロ経済学、資本主義システム論、統計学、計量経済学、金融論、国際金融論、流通経済論、日本経済史、経営学、経営管理論、会計学原理、原価計算論、簿記原理、商法、企業情報システム論

変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。

混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の準拠枠にとらわれることなく、

柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。

本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間に関わる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、

人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会のなかで生じてくる

様々な課題に対処し、より善い将来を自らの手で築きうる、

活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。

人間基礎論コース

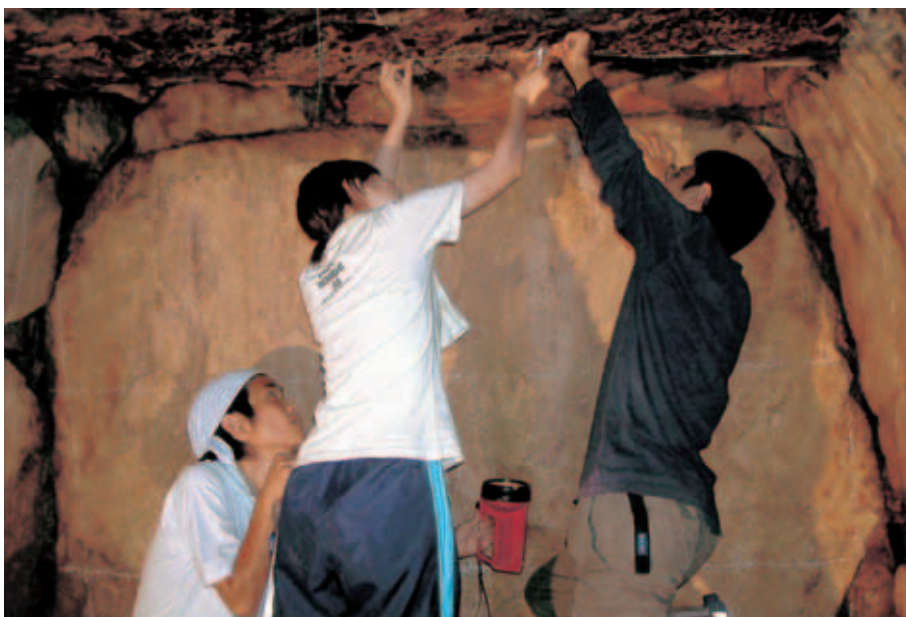
社会生活が複雑さを増すほど、人間の本質への省察もまた必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学などの分野を学びながら、人間の精神活動・言語・認知・思想・行動に関する認識を深め、文化をつくると同時に文化によってつくられる人間存在をトータルにとらえる洞察力の育成をはかります。

地域変動論コース

世界の各地域に生成・変動する社会・文化の特質や構造を歴史的な視点から理解するとともに、人間が生活する場としての地域が持つ固有の産業・方言・自然などの文化的環境について学習し、人間の「生」の重層的な把握を目指します。主として、日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学などの分野を学ぶことができます。

言語表象論コース

文化のエッセンスは言語表象にあらわれます。日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・ドイツ文学・フランス文学など、各地域固有の言語文化を学ぶとともに、それらの比較対照によって文化現象を相対的にとらえる視点の獲得に努め、そのことを通じて、多様な文化事象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、大学院進学など、進路は多種多様です。民間への主な就職先としては、流通サービス業、金融・保険機関、旅行代理店、情報処理関連企業のほか、新聞社、テレビ局、広告業などのマスコミ関係があげられます。

さまざまな視点から、「地球社会」にアプローチする

今、国際化・情報化の波は大きく押し寄せています。

この学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、「情報」をベースに多文化的な観点から「国際社会」にアプローチし、コミュニケーション能力と、総合的な思考力・創造力をあわせ持った「国際人」の養成を目指します。

国際化のうねりのなかで真に求められているもの、それを学生は主体的に学び取ることになるでしょう。

わたしたちの学科は、多元的な教育システムのもと、優秀なスタッフが学生の主体性に応えていきます。

日本語教員の養成課程も用意されています。

国際コミュニケーションコース

国際化が進行する社会のなかで必要とされる、異文化間の相互理解への能力を養っていきます。異文化間のコミュニケーションには、実践的なコミュニケーション能力はもちろん、異文化への理解、さらにインターネットに見られるような情報発信能力が求められます。このコースは、こうした総合的なコミュニケーション能力の養成を目指しています。

国際社会交流論コース

環境問題、民族・宗教紛争、あるいは巨大経済機構の出現。今こそ地球的規模の対応が求められています。このコースは、人文・社会科学の諸領域を自由に行き来し、そのなかで的確な情報処理能力を基盤に、地球社会というひとつのシステムを担っていくにふさわしい、幅広い視野と思考力を兼ね備えた人材の養成を目指しています。



卒業後の進路

教職や公務員をはじめ、さらに大学院への進学など、進路は多種多様です。民間企業では、商社や流通業界、各製造業界、銀行、証券会社、保険会社、旅行会社のほか、テレビ局や新聞社、広告業界などのマスコミ関係があります。また、国際機関の職員、さらに日本語教師への道もあります。

幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人を養成する

世界経済、日本経済、地域経済は21世紀、大きな変動に直面しています。社会経済学科では新しいこれらの社会的諸問題に対して、その解決策を企画・立案・実行できる専門的職業人を養成することを目指しています。特に、成熟化・高齢化・少子化社会、高度情報化している状況を踏まえて、日本と地域社会の問題を真正面から学習することを目指しています。

総合地域政策コース

総合地域政策コースでは、地域社会に関する政策立案能力を持った学生を養成します。今日の地域経済は、国内的にも国際的にも直接相互に関連し合う主体性を持った地域に生まれ変わることが求められています。また、21世紀は地方分権の時代とも言われています。このような時代に、経済学、社会学、財政学、法学等の諸科学を総合し、地域の総合的な政策を勉強します。

経済企業情報コース

経済企業情報コースでは、高度情報化社会に対応した企業活動・経済環境に関する教育研究を行います。今日すでに高度情報化社会が到来しており、この分野の新しい産業が次々と生まれています。そしてこのコースではこうした新しい時代に対応した、企業経営の分析や、経済分析を行う人材を養成します。



卒業後の進路

社会経済学科は幅広い教養を身につけた即戦力となる社会人・企業人を養成します。民間企業をはじめ公務員、教員への就職の道があります。また近年は大学院に進学する人も増えています。

学問の原点は「人」。 そこに触れること

岩佐和幸准教授 + 西中麻喜



アジアの現状を体感したスタディーツアー

西中 私は高校生の時からアジアに興味があって、国際社会の問題を学びたいと思い高知大学に入学しました。大きな転機は大学2年の夏、初めてスタディーツアーに参加したことです。

岩佐 スタディーツアーというのは国際協力活動の現場を訪れて、体験学習を通じて現地の事情や相互理解をはかることを目的としたツアーのこと。高知大学では学生主体で実施されていますが、私も同行し、専門教育科目として単位が認定されます。

西中 その時はもう、ただ衝撃を受けるばかりで…。現地のNGOの方に協力いただいて、タイ東北地方の農村にホームステイして生活の実情を体験したり、都市部ではスラムや工場見学をしました。アジアの抱える問題の深さと複雑さを実感しました。ここでの経験が、その後のモチベーションに繋がったと思います。

NGO(Non-Governmental Organization)
国際協力に携わる非政府組織、民間団体のこと

次に何ができるのか

岩佐 西中さんは次の年のスタディーツアー・リーダーとして、みんなを牽引してくれました。事前学習や訪問先との折衝など、持ち前の情熱と行動力で成し遂げてくれました。

西中 1回目のツアーは衝撃と感動でしたが、2回目にはもっと深く考えることができたように思います。現地の役所、JICA、日本企業の工場などを訪問し、沢山の人の話を聞き、疑問をぶつけました。行って終わりじゃなく、戻ってきてからも活動は続いています。自主的な勉強会や大学祭での展示活動など、自分

たちがどんな経験を得て何を学んだのか、それを多くの人に伝えたいと思って。

岩佐 経験したことを次につなげていく。それがとても大切なんです。

突然、先生が育児休業?!

西中 ツアーをきっかけに岩佐先生のゼミに入りましたが、配属後すぐ、実は先生が育児休業に入られたんです。

岩佐 連れ合いと交代しまして…。(笑)。

西中 びっくりしただけ、素敵だと思いました。先生とはメールで頻繁にやりとりして、学生主体でゼミをやって、先生がいけないのに、なぜかよく時間オーバーしてましたね(笑)。

自分の目で見てこそ気づくもの

岩佐 理系の分野だとモノを作り出す研究が多いので競争力に重点が置かれますが、人文学部は違います。そこに一体どういう社会的、経済的な問題があるのか、当事者たちはどんな悩みを抱えているのか。現状の問題点を明らかにした上で、ではどう変えていけばみんなが幸せになれるのか、という方向性になります。

西中 私はアジアの問題を考えていくうちに、それが日本の問題と深く結びついていることに気づきました。私自身の周辺にも複雑に絡み合ういくつかの問題があるのです。外国人労働者だとか、格差構造だとか、今は日本の内なるアジアの問題について研究を深めています。

岩佐 自分の目で見て体感することが刺激となって、全体像が見えてくるというケースも多い。そういう機会をできるだけ持ってほしいと思いますね。

Profile

プロフィール



岩佐 和幸准教授
国際社会コミュニケーション学科
国際社会交流論コース
[代表的な研究]
東南アジアにおける農業開発とアクリビネスに関する研究
地域経済の再編成と外国人労働者の構造化に関する研究



西中 麻喜
国際社会コミュニケーション学科
国際社会交流論コース 4年生
岡山県出身
[研究テーマ]
外国人研修生と地場産業 - 岡山県倉敷市の繊維産業を中心に -
アジアの「開発」と内発的發展

Close up

スタディーツアー、
あなたも参加してみては?



中心になっているのはタイのコンケン大学への留学経験者や国際社会コミュニケーション学科の学生ですが、これまで教育学部や農学部の学生も参加しています。参加者募集は毎年6月。興味がある人は、岩佐先生の研究室にアクセスしてみてください!

教育学部

Faculty of Education

「人が人らしく生きる」場面に
深くかかわり合う

課程名

■学校教育教員養成課程

- 教育科学コース
- 障害児教育コース
- 教育方法コース
- 教育内容コース

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
- スポーツ科学コース
- 生活環境コース(生活系、環境情報系)

取得できる資格

■学校教育教員養成課程

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状
(教科)国語・社会・数学・理科・音楽・美術
保健体育・技術・家庭・英語
- 高等学校教諭一種免許状
(教科)国語・地理歴史・公民・数学・理科
音楽・美術・書道・保健体育・家庭
英語
- 特別支援学校教諭一種免許状
- 幼稚園教諭一種免許状
- 学芸員

■生涯教育課程

- 芸術文化コース
 - 中学校教諭一種免許状(音楽・美術)
 - 高等学校教諭一種免許状(音楽・美術
工芸)
 - 学芸員
- スポーツ科学コース
 - 中学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 学芸員
- 生活環境コース
 - 中学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 高等学校教諭一種免許状(家庭・理科)
 - 学芸員

求める学生像 Admission Policy

教育学部は、地域社会との連携を通じた自由で創造的な研究・教育を基本とし、学部の特性として子どもと触れ合い、子どもの心がわかる教員の養成を目指しています。

また、日本有数の高齢化県である高知県に立地する学部の特性として、これからの長寿社会における豊かな生活環境の創造のために貢献できる人材の育成を目指します。

学校教育教員養成課程

豊かな生活や遊びに関する体験を持ち、積極的に地域や子どもと触れ合い、仲間づくりを通してコミュニケーションを高めることができる学生を求めます。また、教員希望の学生として、幅広く、そして深い知識・技能を身につけるために適切な努力ができ、進んで教育の真の意義を見いだせる力を持った人を求めます。

生涯教育課程

これからの社会にふさわしい高度の専門性を身につけて、文化や芸術・スポーツの創造発展を目指し、社会環境や人間生活の向上に寄与しようとする意欲のある学生を求めます。

●芸術文化コース

自由な発想や新鮮なアイデアによる音楽や美術に関わる表現活動や文化の創造発展を目指し、芸術・文化環境の向上のために努力できる学生を求めます。

●スポーツ科学コース

これからの長寿社会の中で、スポーツの創造発展や、スポーツを通じて健康で充実した人間生活の実現に寄与できる学生を求めます。

●生活環境コース

変化する生活環境や発達した情報化社会にふさわしい専門性を通じて、社会環境や人間生活の向上に寄与できる学生を求めます。



自由でのびやかな雰囲気と徹底した少人数制のもと、学校教育はもちろんのこと、生涯教育の分野まで幅広いコースが用意されています。

カリキュラム例 Curriculum

学校教育教員養成課程

■ 教職に関する科目

教職入門、同和教育論、道德教育、特別活動指導法、教育の方法・技術、生徒指導、教育相談、各教科初等指導法、各教科中等指導法、教育実習(小・中・高・幼)

■ 小学校教科に関する科目

小学国語、初等社会科、初等数学、初等理科、こどもの生活と環境、初等音楽、初等図工、家庭科概論、小学校体育

■ 中学校教科に関する科目

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目

■ 特殊教育に関する科目

特別支援教育学概論、知的障害心理学、知的障害生理・病理学、肢体不自由等心理・生理・病理、病弱等心理・生理・病理、知的障害教育課程論、知的障害教育の理論と実際、肢体不自由教育指導法、病弱教育指導法、障害児教育基礎演習、障害児教育特講、障害児教育実習

■ 課程共通科目

情報教育I、人権教育、障害児者問題入門、高知県の教育、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習概論、社会教育計画、応用実習、インターンシップ、実践論(フレンドシップ)

生涯教育課程

■ 芸術文化コース

サウンドクラフト、デッサン、グラフィックス、造形、音楽基礎論、ソルフェージュ、音楽実技、地域芸能・文化、中国芸術・文化、書道、西洋画、日本画、デザイン、木材工芸、金属工芸、美術理論、民族音楽・文化、日本音楽・文化、声楽、器楽、合奏、合唱

■ スポーツ科学コース

生涯スポーツ論、スポーツ運動学、スポーツ生理学、スポーツ栄養学、スポーツ指導論、スポーツ健康論、スポーツマネジメント論、スポーツ社会史、スポーツ心理学、スポーツ社会学、身体表現論、トレーニング論、救急処置法、健康生活論、身体発達論、スポーツ実技(個人・対人・集団)、キャンプ実習、海浜スポーツ実習、スキー実習

■ 生活環境コース

被服管理学、住環境学、食生活論、生活環境教育論、地域社会学概論、社会調査法、環境技術概論、環境情報、生物環境学、計算機言語、被服学概論、被服心理学、住生活学、住環境計画論、食物学概論、調理実習、生活機器論、家庭経営学、都市地理学、政治学、社会学、経済学、物理学概論、化学概論、生物学概論、動物学概論、地学概論、地球電磁気学、栽培、数値計算法、応用数値計算、計算機実験学、画像情報処理

こどもたちに豊かな人間教育を

小学校及び中学校（あるいは特別支援学校）の教員養成を一体的に行うことを特色としています。

幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、
さらに教科の専門的な科目を体系的に学習できるようになっています。

3年生で附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校で教育実習を体験します。

子どもたちとの交流の中で大学で身につけた理論と実践力に
さらに磨きをかけ、未来の教師としての自覚を高めていきます。

本課程では、小学校一種免許に加えて、中学校二種または特別支援学校一種免許の取得が必要です。

教育科学コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほか、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。2年生から、教育学あるいは心理学担当教員の指導のもとに、演習や卒業論文作成などを通して、学習と研究を深めます。

障害児教育コース

本コースは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する教員の育成を目的としています。また視覚障害や聴覚障害、重度・重複障害、軽度発達障害についても学びます。これから学校は大きく変わり、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行するなど「特別支援教育」が導入されます。通常学級においても特定の学習だけが著しく遅れていたり、授業が始まって10分もしないうちに席を離れてしまったり、こだわりがあったり等の理由で、一斉指導では教えることが難しい児童生徒に、その子にあった適切な指導をする「個別的教育支援」ができる仕組みが整えられ、全教員がかかわることになります。これらの動向をふまえて本コースでは、学習や生活上の困難を正確に理解するための理論や、児童生徒に応じた適切な指導法を学びます。



教育方法コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての専門的な理論と実践を学び、教科指導にすぐれた実践力を持った学校教員の養成を目指します。教科教育学は、各教科のどのような教材をどのようにすれば児童・生徒に分かりやすく、興味を持って、確かに学ばせることができるかを研究する学問です。2年生から、各教科の教科教育学の教員のもとで、そのような理論と実践の研究を深め、確かな実践力を養成します。

教育内容コース

本コースは、小学校・中学校教員となるために必要な教員免許取得のほかに、幅広い視野に立って、個別教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)の内容を深く掘り下げ、生涯学習社会に対応できる新しいタイプの教員養成を目指します。2年生からそれぞれの教科の専門の教員のもとで学習と研究を深めます。



免許状について

- 卒業要件に含まれる免許状
 - 小学校教諭一種免許状
 - 中学校教諭二種免許状または特別支援学校教諭一種免許状
- 履修の仕方によって取得可能な免許状
 - 幼稚園教諭一種免許状
 - 中学校教諭一種免許状
 - 高等学校教諭一種免許状
 - 特別支援学校教諭一種免許状

卒業後の進路

小学校・中学校、特別支援学校・高等学校の教員となる場合がほとんどですが、最近では公務員、あるいは教育関連産業をはじめ、一般企業への就職者が増えています。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習・研究するために大学院教育学研究科(修士課程)へ進学する学生が増えています。

幅広い教養と総合的な知識を育み、社会のニーズに応える

生涯学習社会、情報化社会をむかえて多くの課題があります。

また、芸術・スポーツ活動による健康で文化的な生活の確立、地球環境、生活環境をめぐる

いろいろな問題にも直面しています。

豊かな感性と人間的交流と諸科学の学習をもとにした幅広い教養と柔軟な思考力と

高度な技術力を身につけた人材が求められています。

本課程では、このような社会的な要請に応えるために3つのコースを設けました。

教員の養成を目的とするものではありませんが、履修の仕方によっては、教員免許状を取得することができます。

芸術文化コース

本コースは、美術工芸と音楽を中心とした芸術表現に関わる領域を幅広く学んだ上で、主として芸術家と芸術文化に関する社会教育の指導者などを養成するコースです。1・2年生ではコース共通の基礎や専門の授業科目が用意されていますので、総合的に芸術全般にわたっての知識や技術を身につけることができます。

スポーツ科学コース

本コースは、競技力を支えるコーチ、トレーナー、そしてマネジメントに関わる指導者と生涯・健康スポーツの指導者を養成します。まず基本的な実技と自然科学や社会科学に基づくスポーツ諸科学を学び、学年の進捗と共に少人数体制のもとで各人の関心や興味を深め、スポーツの専門家としての教育・研究能力を高めます。

生活環境コース

本コースでは、生活環境問題を多角的に学び、新たな時代にふさわしい生活環境の創造に必要な知識・技術を学びます。2年次より「生活系」と「環境情報系」に分かれます。「生活系」では現代の生活環境問題を、生活科学及び社会科学の視点から分析的・総合的に学びます。「環境情報系」では環境を科学・技術的側面からとらえ、私達をとりまく自然界に目を向け、さらに私達の生活を便利・安全にするための工夫について学びます。



免許状について

- 履修の仕方によって取得可能な免許状
中学校教諭一種免許状
(音楽・美術・保健体育・家庭・理科)
高等学校教諭一種免許状
(音楽・美術・工芸・保健体育・家庭・理科)

卒業後の進路

芸術文化コースでは、各種デザイン、印刷関連、企画会社等の一般企業や美術館学芸員、文化施設・公民館職員等があります。また、スポーツ科学コースでは、公共スポーツ施設や福祉厚生施設、及び商業スポーツ施設の指導員等があり、生活環境コースでは、衣食住関連企業もしくは情報関連企業、環境・地域計画コンサルタント、消費生活・ファッションアドバイザーなどがあります。そして、各コース共通の進路として、教員や公務員があげられます。また、学部の課程で興味を抱いた専門領域をさらに深く学習、研究したい場合には大学院教育学研究科(修士課程)へ進学することも可能です。





誰かに音楽の楽しさを伝える きっかけになりたい

脇岡 総一 教授 + 桜井 真由美 + 仙頭 まり子

好きなことに夢中になれる環境

仙頭 私は母が音楽の教師で、小さい頃からいろいろな音楽に親しみましたが、中学校でクラリネットを始めからは特にのめり込むようになって…。

桜井 私もそう！ 小、中、高と吹奏楽部でした。高知大学に来てからは、音楽に触れていられる時間が長くて本当に楽しいです。

脇岡 みんな一生懸命、練習していますよ。専攻に分かれるのは3年生から。でもレッスンは1年生の時からみっちりやっています。

仙頭 レッスン中の先生は、ひと言で言うと「熱血」！絶対に妥協してくれません。

桜井 周囲の友達や先輩も熱心で、刺激的ですね。

音楽を通じて、いろいろな人と触れ合える！

脇岡 大学の外に出てやっている活動も多くて、今年からは「高知ジョイフルコンサートシリーズ」という取り組みをスタートさせています。これは、国際的に活躍しているプロの音楽家と、地域の子どもや学生たちが同じ舞台上で演奏する室内楽のコンサート。一流の音楽に触れる機会を増やし地域に音楽文化を育むと同時に、若い人たちの技術レベルの向上をはかることを目的としています。

仙頭 2回目のコンサートでは私もプロの方々と一緒に演奏させていただきました。こんな機会、ふつうない!!ものすごく貴重な体験になりました。

脇岡 できるだけ多くの学生にいろんなチャンスを提供したいし、できるだけ多くの人に音楽に触れてほしいと思っています。ですから、山間部

の中学校に、学生と一緒に出前演奏に行ったりもしていますよ。聴きに来るのが大変なら、こちらが行って演奏すればいいと(笑)。

桜井 その時は子どもたちに音楽の素晴らしさを知ってもらおうと、ソロやアンサンブルの演奏だけでなく、楽器紹介などもプログラムに組み入れて工夫をしました。後から届いた手紙に、『クラリネットの音がいいなと思いました』と書いてあって、すごく嬉しかったですね。

音楽と教育の本質を学ぶ

脇岡 音楽のよさは、演奏する人と聴く人とが楽しさを分かち合えるところですよ。そういうことを広めていきたいし、それが教育学部の役割であると思っています。

仙頭 先生はいろいろな音楽活動を盛んにさせていて、そこに私たち学生をどんどん参加させてくれます。他の大学では絶対に経験できないことが経験できるし、先生の姿勢からも学ぶことが多い。人間的に大きくなれると思います。

桜井 自分自身も音楽をずっと楽しんでいきたいし、それが人に音楽のよさを知ってもらえるきっかけになればとても幸せですね。

脇岡 授業や様々な活動の中で、いい出会い、いい経験を重ね、音楽と教育の本質を学ぶ。彼女たちはまだそのプロセスの途中ですが、今後はそれを教育実習に繋げていったり、演奏活動に活かしていってくれることでしょう。将来を楽しみにしています。

Profile

プロフィール



脇岡 総一 教授
生涯教育課程芸術文化コース
[代表的な研究]
器楽・オーボエ
(元東京都交響楽団首席オーボエ奏者)



桜井 真由美
生涯教育課程芸術文化コース 3年生
宮崎県出身
[研究テーマ]
クラリネット奏法の研究



仙頭 まり子
生涯教育課程芸術文化コース 3年生
高知県出身
[研究テーマ]
クラリネット奏法の研究

Close up

教授も学生も、学外に飛び出して活躍中!



音楽教育では他にも、地元高校生を集めて「スーパープラスコンサート」をプロデュースしたり、学校のクラブ活動支援など学外活動に積極的。個人でオーケストラや合唱団に所属する学生も多く、自ら積極的に取り組む姿勢が見られます。
(写真は、ジョイフルコンサートの様子)

理学部

Faculty of Science

壮大なスケールの世界を
基礎から応用まで解き明かす

学科名

■理学科

- 数学コース
- 物理科学コース
- 化学コース
- 生物科学コース
- 地球科学コース

■応用理学科

- 情報科学コース
- 応用化学コース
- 海洋生命・分子工学コース
- 災害科学コース

取得できる資格

■数学・情報系

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)

■物理系

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

■化学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 環境計量士[要試験]
- 有機溶剤作業主任者[要試験]
- 特定化学物質取扱責任者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

■生物系

- 学芸員
- 生物分類技能検定[試験有]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

■海洋生命・分子工学系

- 毒物劇物取扱責任者[資格審査有]
- 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]
- 中級バイオ技術者[要試験]
- 上級バイオ技術者[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

■地学・防災科学系

- 学芸員
- 測量士補[要試験]
- 技術士補[要試験]
- 防災士[要試験]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)

求める学生像 Admission Policy

理学部は数学的思考力・英語力・情報処理能力を土台にして、
情報・材料・生命・環境・海洋・資源等の広範な分野で専門教育を実施し、
地域国際社会に通用する専門職業人を養成します。
数学と理科学科が好きで、自然に対する好奇心と探究心を持つ学生を求めます。



国際的に高く評価される研究成果が数多く発表されるなど、研究活動も活発。

理学科

理学科は、正しい自然観や倫理観を学びたい学生を受け入れます。自然現象や生命活動の探求を通して知的文化の創造に寄与し、バランスの取れた自然観に基づいて、適切な課題設定と課題解決ができる理学士を養成します。

●数学コース

数学に興味を持ち、数学を一生の仕事あるいは友としたい学生、数学の基本的な思考法と技術を身につけて他分野へ進みたい学生、教員になって中学・高校で数学を教えたいと考えている学生を求めます。

●物理科学コース

自然現象の本質的法則に興味を持ち、その理解に意欲的な学生、物理や化学の実験が好きで、データ解析やもの作りに熱中することのできる学生、また、物理や化学の基礎を学び、将来、物質開発研究、教員などの職業に生かしたいと考えている学生を求めます。

●化学コース

物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらに分析化学的手法などについて興味があり、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めたいと考えている学生、また、グローバルな視野に立って将来の化学及び化学技術の発展に貢献したいと考えている学生を求めます。

●生物科学コース

生物の多様な存在様式や活動及びそれらを支えている生命機構に関して、分子・細胞レベルから個体や集団レベルに至る総合的学習を目指す学生、環境と生物の関わり合いに興味を持ち、さらなる専門性を身につけたいと考えている学生を求めます。

●地球科学コース

地球科学分野に向学心を持ち、地球史46億年をひも解く知的好奇心を持つ学生、自然と人間の関わり合い(地球環境)を理解しようという意欲を持つ学生を求めます。

応用理学科

応用理学科は、応用的な知的活動を通して社会に寄与し、国際的視野・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた、応用力に秀でた理学士の養成を目指しています。情報・材料工学・生命・防災等を学びたい意欲のある学生を受け入れます。

●情報科学コース

情報通信技術(IT)に興味を持ち、コンピュータに関する基礎的理解から柔軟な応用力を会得したい学生、情報科学という広範な学問分野のさらなる開拓と新しい応用分野の創造に参加したい学生を求めます。

●応用化学コース

分子レベルでの物質の構造・性質および反応性に興味を持ち、人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解したい学生、エネルギー・地球環境問題の解決等に興味があり、国際的な研究者・技術者を目指す学生を求めます。

●海洋生命・分子工学コース

海洋生物などの生命現象を分子レベルで解き明かそうとする強い熱意を持った学生、生物学と化学に強い関心を持つ学生、“どうしてだろう…”“何故だろう…”と探求心が旺盛な学生、実験が好きな学生、チャレンジ精神の旺盛な学生を求めます。

●災害科学コース

地球諸科学に底流する理学的思考と方法を基礎に、各地域の特性を熟知した上で防災という工学的課題の解決にチャレンジしたい学生、また、大気現象に関心があり、未知への探究・解明に取り組める学生を求めます。

カリキュラム例 Curriculum

理学科

■ 数学コース

数学概論、線形代数、解析学、幾何学、代数学、統計学

■ 物理科学コース

力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学

■ 化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、無機物質化学、量子化学

■ 生物科学コース

動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学

■ 地球科学コース

地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学

応用理学科

■ 情報科学コース

計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能論

■ 応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、無機物質化学、量子化学

■ 海洋生命・分子工学コース

生化学、発生物学、有機化学、分子生物学、進化生物学

■ 災害科学コース

地球惑星科学、防災科学、地球観測学、連続体力学、地震物質学

知的文化の創造と人類進歩を目指して

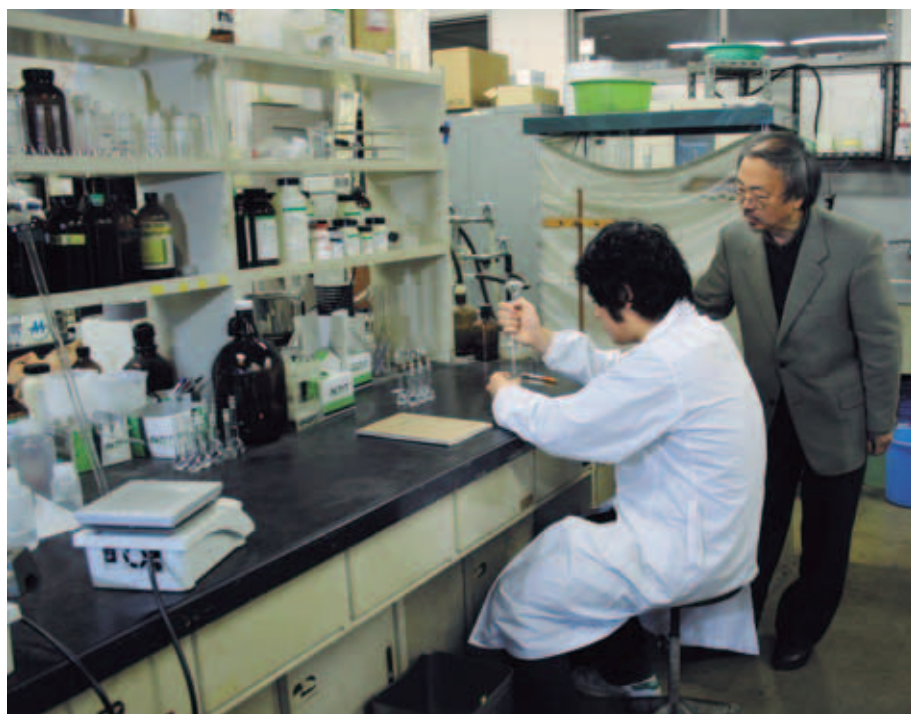
理学科は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、

数学的思考を基礎に据え、物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。

知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、

そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、

そして、課題設定および課題解決ができる職業人の養成を目指します。



数学コース

数学的である、あるいは論理的であることは全ての科学に携わる人々に必然的に求められています。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得と十分な数学的・論理的訓練とが必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学などの基礎的な概念をまずは学習・獲得し、広範な応用を視野に入れた更に深い内容へと進み、総仕上げとしての卒業研究に至るまでの数学教育を行います。

物理学コース

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを取り扱います。これには、従来の理論物理、量子物理、物性物理、物理化学などの分野が含まれています。具体的には、素粒子やハドロン・原子核の基礎理論、素粒子間の相互作用や電磁的非線形現象、固体の電気・磁気・光・熱的諸性質、物質の持つ物理化学的諸性質（物質合成法、構造解析法、結晶構造と物性との関連など）などの理論を学び、実験によって確実な知識を習得できる教育を行います。

化学コース

化学は、100種あまりの元素の組み合わせからなる物質の性質ならびに物質間の相互作用と変化を探求する学問分野です。本コースでは、これら様々な物質の反応メカニズム、無機・有機化合物の合成や物理化学的性質、さらには分析化学的手法などについて、原子・分子という基本的要素から複雑な先端化学物質までを対象として体系的に教育し、研究を行います。このことにより、化学物質の本質的理解と応用価値についての専門性を高めるとともに、グローバルな視野に立って将来の化学および化学技術の発展に貢献できる人材の育成を目指します。



生物科学コース

原生動物や藻類の細胞生物学および分子生理学、昆虫や魚類の行動生理学、魚類や無脊椎動物を対象にした分類学と生態学、こけ類と地衣類を対象とした分類学、河川、草原、里山などの植物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、有用海藻類を対象とした海洋植物学などの教育と研究を行います。さらに、他コース生物系講義題目も加え、分子レベルから集団レベルに至る幅広い領域をカバーできるような充実した講義メニューを提供し、豊かな科学的素養と独創的専門性を備えた人材の育成を目指します。

地球科学コース

地球科学コースでは、地球表層システム、とりわけ岩石圏、水圏の相互関係の理解を進めています。固体地球の分野では、火成岩や変成岩の成因論や、地殻・マントルの形成及び発達過程の解明を目指しており、また、地球環境の分野では、堆積相や化石の解析から過去の地球の様子を、海洋底堆積物の解析から海洋環境変遷などを研究し、教育しています。幅広い地球科学現象の学習を通して、地球環境の諸問題を地球科学の視点から理解する力を備えた学生の養成を目指します。



▶ URL <http://www.math.kochi-u.ac.jp/>
<http://www.is.kochi-u.ac.jp/>

卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、金融機関、コンピュータ関連企業、製造業、流通・販売業、サービス業、環境アセスメント関連企業、環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

本学科は、情報、材料工学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

情報科学コース

本コースは、コンピュータに基づくソフトウェアやアルゴリズムの基礎から応用までの習得にとどまらず、コンピュータは何かができるのか、どのようにして動くのか、どうすればより良い計算システムが構築できるかを講義を通して指導し、学生はコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の研究成果は多くの研究分野で活用されており、また、新しい学問の創出にも貢献しています。情報科学コースは、コンピュータの理論から広範な応用までを担うものとして、高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。

応用化学コース

応用化学コースでは、分子レベルで物質の構造・性質および反応性を明らかにするとともに、新しい物質の創造や機能材料の開発をめざした教育と研究を行うことで、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解し、さらにエネルギー・地球環境問題の解決等に向けた産業創出に関与する先導的学問領域の構築を目指します。このことにより、幅広い専門知識や高度な技術力に加え、豊かな人間性や崇高な倫理観を併せ持つ国際的な研究者・技術者の育成を目指します。

海洋生命・分子工学コース

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな科学的教養を体得した専門職業人の養成を目指します。本コースは海洋生物などを対象とした遺伝子工学、発生工学、タンパク質・酵素工学、分子工学などの領域で教育と研究を行い、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。本コースには、分子生物学、生化学、天然物化学、有機合成化学などの分野が含まれています。



災害科学コース

人間生活に多大な被害をもたらす自然災害に対し、効果的な防災対策を立案し災害の軽減を図るには、自然現象の発生メカニズムを正しく理解し、次に人間生活を考慮した将来の予測を立てることが重要です。災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害を主な対象とし、大気科学、地球物理学、地盤科学、地震地質学などの講義・実験・野外調査を通じて、地球の営みとそれを解明するための調査手法を研究し、教育します。これにより、問題解決の能力をもち、自然災害に対する実務や啓発活動の主体となる人材の育成を目指します。



卒業後の進路

国家・地方公務員、中学・高等学校教員、情報・通信サービス業、コンピュータ関連企業、化学・機械・電気・鉄鋼・建設・食品・薬品・遺伝子関連企業、製造業・環境・地質コンサルタント関連企業、高知大学ならびに他大学大学院

▶ URL <http://www.sc.kochi-u.ac.jp/~apply/>



未来への可能性は マルチに広がる

菊地時夫教授 + 小山貴和子

柔軟な思考で、興味の矛先を伸ばす

菊地 私の研究室の特徴は、何かひとつの分野をつきつめて行くというのではなく、ひとつのことから様々な方向性に発展する広がりを大切にしているという点です。私自身、もともと地球物理の人間で気象学が専門。気象衛星の画像処理をしていたのが、今は処理した画像をみんなに見せるネットワーク技術に重点を置いています。大学のホームページ上で「高知大学気象情報頁」というサイトを作ったり、他にもいろいろなコミュニケーションツールの可能性を探っています。そういう意味では、私はちょっとひねくれもの(?! かもしれない(笑))。

小山 菊地先生をはじめ、情報科学には親しみやすい面白い感じの先生が多いんです。まだ研究室に配属になったばかりでこれからですが、私はネットワークやセキュリティの分野に興味があるので、そこにどんな可能性があるのか、どんなことができるのか、見つけていきたいと思っています。

好きな人集まれ! 誰でも参加できる 勉強会

小山 先生の研究室には、学内だけでなく学外からもいろいろな人が集まって来ます。

菊地 地元のネットワークに興味がある人を集めて、気軽に参加できる勉強会を年に3~4回開催しています。「土佐オープンソース勉強会」というのですが、参加者は20代から60代くらいまで。県外から来てくれる方もいます。

小山 私も参加しています。まだ1回だけですが、先輩たちが一般の方に混じっているのを見て、とても興味深くて…。

菊地 この勉強会では、いろいろなオープンソース

ソフトウェアを使った経験を発表したり、そのソースを利用してみんなで新しいソフトを作ったりしています。例えば「Mailman」の開発だとか、他にもいろいろあります。知識が広がるのも人の輪が広がるのも、こういった勉強会を開く醍醐味のひとつですね。

予測できないからこそ面白い

菊地 情報科学を学ぶ上では、今の時代「場所」がどこかはあまり大きな問題ではありません。しかし教育という観点で捉えると、人と人との「出会い」が非常に重要になってきます。とすれば、そこにいる人間が個性的だったり関係性が多様だったりすると、より面白い環境と言えるのかもかもしれませんね。

小山 私は大学寮に入っていますが、そこでの留学生やいろいろな学部の友人との交流は、大切な大学生活の宝物です。すごく貴重だし、すごく楽しくて! 学生同士や、学生と教授の距離もすごく近くて、温かいですね。

菊地 高知大学のユニークな点は、規模が大き過ぎないところから来ている点も多い。理学部の中に工学系が含まれているところもそうです。技術と探求心が相互に進歩しながら発達してきたのが理学と工学。その両方が同時に存在するのは、ある意味理想的と言えるかもしれません。この先、情報社会がどういう風に発展していくかは全く予測不可能ですが、ぜひみなさんと一緒に、その面白さを分かちあいたいと思います。

Profile

プロフィール



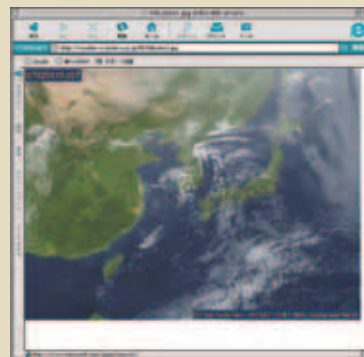
菊地 時夫教授
応用理学科 情報科学コース
[代表的な研究]
地球環境情報学
「高知大学気象情報頁」による気象衛星画像の処理と公開、これに伴う画像処理、ネットワーク技術の研究



小山 貴和子
応用理学科 情報科学コース3年
大阪府出身
[研究テーマ]
セキュリティ分野に興味を持ち、現在菊地先生の指導のもとテーマを模索中

Close up

ぜひアクセス! 高知大学気象情報頁



菊地先生は、気象衛星ひまわりの画像の配信を通じて、様々なインターネット上のコミュニケーションツールやプログラムの開発に携わっています。私もという方は、ぜひアクセスしてみてください。
<http://weather.is.kochi-u.ac.jp/index.html>

医学部

Medical School

人間とその病態の中に
真理を見いだす

学科名

- 医学科
- 看護学科

取得できる資格

- 医学科
 - 医師国家試験受験資格
- 看護学科
 - 看護師及び保健師の国家試験受験資格
※助産師の国家試験受験資格は得られません。
 - 高等学校教諭一種免許状（看護）
 - 養護教諭一種免許状
※ただし、高等学校教諭一種免許状（看護）と養護教諭一種免許状は、在学中に必要な単位を修得した者に限り取得できます。
また、保健師免許取得後は、本人の申請により養護教諭二種免許状、及び第一種衛生管理者免許状が取得できます。

求める学生像 Admission Policy

近年におけるサイエンスとしての医学・医療の飛躍的な進歩は、社会全体に様々な影響を与え続けており、これに的確に対応するには、医学・医療に携わる個々人が自ら自分自身の倫理体系を構築しなければなりません。

その基盤となるのは、長期間を要して培われた、強靱な論理的能力とバランス感覚に支えられた多面的な思考力、洞察力及び問題解決能力です。

医学部では、このような能力、医学・医療に対する強い志望動機、ならびに適性を具備した人材を幅広い領域から発掘し、今世紀における多様な社会的ニーズに応えうる高い倫理観、使命感、ならびに思考の柔軟性を有するとともに、高知県の地域医療に貢献する強い意欲をもつ医療人の育成を目指して、以下のアドミッション・ポリシーを掲げています。

医学科

医学科では、高い倫理観、使命感、ならびに思考の柔軟性を有し、自らの力で問題を見つけ解決する能力を中心とした医療人に不可欠な諸能力、医学・医療に対する意欲、医療人に相応しい態度・適性、コミュニケーション能力ならびにcollaboration資質を具備した、活力漲ぎる人材を求めます。

看護学科

人間が大好きで、命と生活を支援するためのライフサポーターを目指す学生を求めます。

看護職人材の育成目標は以下の通りです。

- 倫理的感性に富む人間性の涵養
- 生命の尊厳・人権の尊重を基本とする権利擁護能力の育成
- 援助的人間関係形成能力、専門的知識に基づいた判断力の育成
- 対象者の自立と自己表現を支えるための創造力の形成
- チームワーク、マネジメント能力の育成



医学部では、「敬天愛人」「真理の探求」という医学部の前身旧高知医科大学建学の精神のもと、「人間味豊かな良き医療人づくり」と「地域医療に密着した学風づくり」を創設の理念として掲げ、実践しています。

カリキュラム例 Curriculum

医学科

- 6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。
- KMSコアカリキュラムは次の10項目に分類される。
 - A 医療と医学の基本理念(1~4年)
 - B 医学・医療と社会(1, 2, 4, 6年)
 - C 個体のライフサイクル(1~6年)
 - D 全身におよぶ病態と診療(2年)
 - E 診療の基本とその科学的根拠(1~6年)
 - F 医科学(1~4年)
 - G 医科学演習(1~4年)
 - H 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療(1~4年)
 - I 臨床クラークシップ(5, 6年)
 - J 履修した医学・医療の統合と将来の医学への展望(6年)

看護学科

- 看護学科のカリキュラムは、共通教育科目と専門科目の2つの領域を基に構成されている。
- 共通教育科目の分類
 - 1) 基軸(1年): 大学英語入門、コミュニケーション論など
 - 2) 教養(1~4年): 哲学、感染と免疫など
 - 3) 基礎(1~4年): ライフサイクルと健康、社会保障論など
- 専門科目(1~4年)
身体のしくみ、看護と病態、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、地域看護学、在宅看護学、卒業研究など

新しき医学の真理ひたに極めん

医学部医学科は、その前身の旧高知医科大学の建学の精神である「敬天愛人」と「真理の探究」即ち「自然の摂理を扱い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人を目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」人材を育成することを教育理念として掲げています。



教育目的

- (1) 豊かな人間性と裾野の広い価値観を有し、自己の人間形成を目指す医師及び医学研究者を育成します。
- (2) 医師としての使命に徹し、生命の尊厳と医の倫理をわきまえた医師を育成します。
- (3) 国際的視野に立った上で、地域住民の健康と福祉に十分貢献しうる意欲と能力を有する医師を育成します。
- (4) プライマリ・ケアを身につけ、患者第一に徹する医師を育成します。
- (5) 高度の知識・技能を身につけ、高度専門医療の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (6) 社会の変化と時代の要請に対応可能な高度な情報収集・分析能力及び自己課題設定・自己問題解決能力を有する医師、医学研究者及び医学教育者を育成します。
- (7) 医療現場での問題を真理解明の糸口とし、生命科学の発展及び医学・医療の推進に十分寄与しうる医師及び医学研究者を育成します。
- (8) 上記の目的達成のために、学生が勉学や人間形成活動に励める環境を整備します。

教育目標

医学部医学科の教育目標は、上記の目的達成のために総合的な医学を徹底的に身につけさせることにあります。即ち、人間の生命をあずかる医師の養成を柱とし、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識技能を身につけた臨床医ならびに医学研究者として、時代の要請に応じうる「心を診る医師」を養成することを目指しています。

医学部医学科の講座は、以下の3系、各講座より編成されています。

(1) 本学の学部教育の主幹であるKMSコアカリキュラムをより円滑に実施するため

(2) 学内で現在検討中の文系・理系の統合大学院構想に柔軟に対応するため

●基礎医学系

解剖学、病理学、生理学、生化学、遺伝子機能解析学、生体分子構造学、薬理学、微生物学、寄生虫学、免疫学

●社会医学系

法医学、医療学(人間医療学分野、予防医学・地域医療学分野、医療管理学分野)

●臨床医学系

消化器内科学、内分泌代謝・腎臓内科学、血液・呼吸器内科学、老年病・循環器・神経内科学、皮膚科学、小児思春期医学、産科婦人科学、神経精神科学、外科学(外科1)(外科2)、整形外科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、脳神経外科学、放射線医学、麻酔科学、歯科口腔外科学、病態情報診断学、附属病院・病院診断部と薬剤部



卒業後の進路

医師国家試験に合格し、卒業後2年間の臨床研修医となる場合と大学院に進学する場合があります。

新しい時代をリードする、グローバルな視点を持った看護専門職者の育成をめざす

21世紀に入り、急速な国際化や少子高齢社会を迎え、

保健・医療・看護に対する社会的ニーズは、増大の一途をたどっています。

このような刻々と変化する社会の中で、医療、ことに看護専門職者の必要性はますます高まっています。

本学科では、このような社会の変化に柔軟に対応し、

国際社会に貢献でき、情報技術が駆使できる、看護専門職者の育成を目指しています。

豊かな人間性を持った看護師になるためには、のびのびとしたキャンパスライフが

必要であると考えています。そのために、自然に囲まれたキャンパスと、

充実した学生生活をサポートする熱意ある教授陣があなたをお待ちしています。

さらに、看護をより専門的に深めていきたいと考える方のために、大学院教育も準備しております。

基礎看護学講座

基礎看護学講座は、基礎看護学、生活援助技術論、治療援助技術論、看護教育・管理学領域から成り立っている講座です。主に、看護の基礎となる教育を担当しています。看護学は対象が人間であることから、(1)人間・社会集団と健康 (2)人間関係の形成 (3)人間の心と体の健康 (4)看護の本質、等を理解する能力を育成します。

臨床看護学講座

臨床看護学講座は、成人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学の4領域からなる講座です。臨床看護学では人間の発達と健康障害、生活習慣と健康障害を判断し、実践できる能力を形成します。

地域看護学講座

地域看護学講座は、地域看護学、在宅看護学、老年看護学の3領域からなる講座です。地域の特徴に応じた援助ができるよう、地域看護活動の対象・場と特性を理解し、実践できる能力を育成します。



卒業後の進路

看護師及び保健師の国家試験に合格した後、本学医学部附属病院を含む医療機関や保健所、保健福祉センター、官公庁、福祉施設、訪問看護ステーション、一般企業などに勤務することができます。さらに、大学院に進学して、教員や研究者、看護管理者として進むこともできます。

また、高等学校教諭(看護)、養護教諭として小・中・高等学校に勤務することもできます。





問題に気づく力 人を思いやる心を大切に

倉本秋医学部附属病院長 + 田井龍太

人間性重視の教育姿勢

田井 僕はAO入試(1)で入学しました。

倉本 AO入試とは、学力だけでなく医師になる適性や意欲のある学生に来てもらおうという入試方法です。高知大学では一次の学力試験の後、2日間グループ学習を行い、その間の意欲や態度、人間性を評価します。

田井 入試もですが、入学後もPBL(2)という自学自習型の授業が取り入れられており、自主性や総合的な能力が重要視されているのを感じます。

倉本 多くの患者さんが抱えている問題は、そんなに単純なものではないのです。ただ悪いところを切れば治るのではなく、病気について悩んでいる心の部分を聞いてさしあげないと解決しない。それができる医師が今求められています。

様々な角度からの学びを段階的に

田井 ここでは1年生から白衣を着て医療の現場に触れる機会を持つことができます。僕も診察の見学から衣服の着脱のお手伝いまで、医師の側だけでなくコメディカルの体験までできて、とてもいい経験になりました。ちょっと変わったところでは、グループにわかれて病院内を見て回り、改善点を探すという授業もありましたね。

倉本 その時は、「病院の食堂なのにカロリー表示がない」とか「階段には手摺りがあるのに踊り場に来ると突然なくなる」など、いろいろな指摘をもらいました。それらは実際に予算を使って改善しましたが、ここで大切なのは問題を見つける感性、判断

力です。相手の視点に立つてもものを見ることが医師には必要なのです。

田井 2年生からはリサーチコースというカリキュラムがスタートしています。これは学生が内科、外科、法医学などの各講座に入って研究の手伝いをさせてもらうというものです。

倉本 学生が混じった研究の中で、思いがけない成果が出て学術誌に載るケースも多い。若い人が若い感性でやることも大切ですね。

地域医療から、日本の医療を変えたい

倉本 「評価が学習を変える」ということわざがありますが、何を評価するかということは本当に重要です。例えば5年生で臨床実習に入る前、患者さんに接する診察技能や態度が修得できているかを試す臨床技能試験(OSCE 3)があります。2005度からはCBT(4)と共に制度化され全国統一の共用試験になりましたが、高知大学ではずっと以前から、このOSCEによる評価を行って来ました。ひどい話ですが昔は学問主体・研究主体の風潮があり、「知識さえ身につければ、聴診器の扱い方などは患者で覚えればよい」というような医学部もありました。「患者」という、さんをつけない言い方自体、嫌ですね。でも、高知は違うやり方をしようと実技教育を充実させ、評価を行うことでそれを担保してきた。

田井 その熱意は、先生たちを身近に見てよく伝わってきます。こういう環境で学べることにすごく感謝しています。

倉本 医師というのは、最新の研究成果を患者さんのもとに届ける使者のようなもの。特に地域医療の場合は研究だけでなく、その成果をどれだけ住民の方にフィードバックしていけるかが大切です。医師、看護師、病院のスタッフが一丸となって、患者さんが納得し満足できる医療と一緒に組み立てていく。そういう人材を育成し、日本の医療を変えていきたいと思っています。

- 1 AO入試(Admissions Office方式):態度・習慣領域評価方式による入学者選抜方法
- 2 PBL(Problem Based Learning):問題解決型のグループ学習。シナリオ形式で与えられたテーマについて自分たちで調べて答えを導き出し、その後、講義が行われる。
- 3 OSCE(Objective Structured Clinical Examination):客観的臨床能力試験
- 4 CBT(Computer Based Testing):知識や思考力を問うコンピュータによる試験

Profile

プロフィール



倉本 秋^{シヨウ} 秋医学部附属病院長
[代表的な研究]
消化器外科学
ストーマ・リハビリテーション
医学教育学



田井 龍太
医学科 2年生
高知県出身
現在はKMSコアカリキュラムに添って積極的な学びを実践中。

農学部

Faculty of Agriculture

人と自然が共存していく
道を探求する

学科名

■農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

取得できる資格

■農学科

- 樹木医補
- 森林情報士2級
- 測量士補
- 測量士[受験資格]
- 気象予報士[受験資格]
- 技術士補
(JABEE認定プログラム修了生)
- 技術士[受験資格]
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(農業)
- 高等学校教諭一種免許状(水産)
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 学芸員
- 土木施工管理技士[受験資格]
- 中級バイオ技術認定
- 上級バイオ技術認定
- 家畜人工受精師[受験資格]
- 林業改良普及員[受験資格]
- 水産業改良普及員[受験資格]

求める学生像 Admission Policy

21世紀における農学の使命は、安全な食料の確保、環境の保全、生物資源の有効利用などを通して、

地域社会の健全な振興に貢献することと考えます。

高知大学農学部は、農学の使命を理解し、自由闊達な創造力と行動力を持って実践しうる人材を育成したいと願っています。

農学の使命に対する強い志を、進路設計の中にしっかりと位置づけ、

高知の豊かな自然と伸びやかな風土をフィールドにして、自ら積極的に学ぶ学生を求めます。

農学科

● 暖地農学コース

- 西南暖地における農業生産の発展に貢献できる技術者・農業者
- 食と農の発展を志す積極性のある学生
- 環境との調和のもと、食料生産、施設園芸技術の研究に興味を持ち、意欲的に取り組む学生
- バイオサイエンスやバイオテクノロジーに関心の高い学生

● 海洋生物生産学コース

- 魚介類をはじめとした生物資源を、美しい海や川を保ちながら持続的に生産・利用するためにどうすればよいかについて学び研究しませんか？ 海洋生物生産学コースでは、以下のような元気で熱意のある学生を求めます。
- 海洋生物の多様性を維持しながら、その資源を人間がどのように有効利用できるか考えたい学生
- 海洋生物が棲みよい環境をどのように保つか考えたい学生
- 海洋生物資源の持続的な生産・利用するためにどうすればよいかを考え、日本や世界が抱える食料問題の解決に貢献したいと考える学生

● 食料科学コース

- 安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる付加価値の高い食品の開発を目指しています。そのために以下のような学生を求めます。
- 食料生産に関わる自然環境の理解と保全修復に取り組みたい学生
- 食品及び食品成分が生体に与える機能を食品化学的ならびに生化学的に解明したい学生
- 機能性の高い食品やバイオテクノロジーを応用して食に関連する機能材料を生み出したい学生

● 生命化学コース

- 動植物、微生物の生命活動の基礎を学び、生理現象のメカニズムを化学的に解き明かすとともに、われわれの生活に役立つ実用技術に結び付けることを目指しています。そのために以下のような学生を求めます。
- 動植物、微生物の生命現象を遺伝子、タンパク質、生理活性物質など目に見えない分子レベルで解明したい学生
- 生態系に興味を持ち、土壌や動植物が果たす役割について理解したい学生
- 生物資源や農産物の新たな利用に取り組みたい学生

● 自然環境学コース

活力に満ちあふれ、動植物とのふれあいに喜びを見出し、また日々の小さな取り組みにも前向きに捉えられる資質を持っている学生を求めます。そしてその中でも、「自然環境」や「自然環境の保全」に興味があつて、自然環境を地球規模からミクロレベルまでの様々なスケールで総合的に理解したい学生、またそれに立脚して生態系と気圏・地圏・水圏より構成される自然環境と人間との共生に関する知識・技術を身につけたい学生を求めます。

● 流域環境工学コース

河川そして水によってつながる森林・農地・市街地から沿岸域までを一つの「流域」と呼ぶことにしましょう。当コースでは、「流域」の中に存在する自然と人間の共存のあり方について深い知識を求める学生、探究心が旺盛で、行動力やチャレンジ精神に富み、仲間とともに勉強に取り組みたいと前向きに考える資質を持つ学生、そして、これらの資質を身につけた上で、日本に留まらず世界的な視点から自然や環境と人間をつなぐ技術者として社会に貢献したいと考える学生を求めます。

● 森林科学コース

森林が環境保全に果たす役割を重視する視点に立ち、森林資源の育成・管理とその高度利用を目指します。そのため、基礎学力を備え、真摯に取り組む姿勢を持ち、自然環境に関心のある人、自然と調和した森林の利用を考えたい人、森林の育成・管理にたずさわる後継者あるいは指導者として地域社会および国際社会の発展に貢献しようとする人を求めています。

● 国際支援学コース

- 21世紀は食料、人口、環境、資源の世紀といわれ、世界的に増加し続ける人類に必要な食料を、環境や資源との調和を保ちながら生産していく必要があります。このような問題は先進国に比べて熱帯・亜熱帯域の発展途上国で深刻であり、問題の解決に向けた先進国の支援に期待が寄せられています。国際支援学コースでは熱帯・亜熱帯域の食料、人口、環境、資源の諸問題を解決できる人材の育成を目指しており、熱意と元気のある以下のような学生を求めています。
- 東南アジア、東アジアを中心とした熱帯・亜熱帯域の農林水産業を支援することを志し、そのために必要な技術や知識を習得したいと考えている学生
- 今後ますます重要となるであろう、食料、人口、環境、資源の問題に関心を持ち、その解決に実践的に取り組みたいと考えている学生
- 海外の大学との国際交流活動を通じて歴史や文化の違いを体感し、幅広い視野と国際感覚豊かな人間性を身につけたいと考えている学生

カリキュラム例 Curriculum

農学科

■ 暖地農学コース

フィールドサイエンス実習、農場実習Ⅰ、農場実習Ⅱ、栽培学、植物生理学、植物育種学、作物学実験、家畜管理学、暖地病害虫管理学、昆虫学実験、蔬菜園芸学、養液栽培学、花卉園芸学、果樹園芸学、熱帯園芸学、農政学、食品流通論、生物環境システム学、植物・環境計測学、施設園芸テクノロジー論、ポストハーベスト論、環境保全農業論

■ 海洋生物生産学コース

水族遺伝・育種学、魚類生態学、海洋基礎生態学、水族環境学、水質学、魚病学、魚類防疫学、魚類栄養学、魚類生理学、水産物利用学、水産物品質管理学など

■ 食料科学コース

無機化学、土壌環境科学、生物化学、食品製造学、食品化学、食品衛生学、栄養化学、酵素化学などの科目を受講します。また、食料科学実験、生命化学実験を通じて、本コースで学ぶための実験基礎を修得します。4年生の卒業論文では、土壌環境学、植物栄養学、生物資源利用学、応用生物化学、生物工学、応用微生物学などの分野の研究に取り組みます。

■ 生命化学コース

植物生育環境学、応用微生物学、生理活性物質化学、生物有機化学、動物生理学、動物生産・繁殖学、植物感染病学、細菌学などの科目を受講します。また、生命化学実験、食料科学実験を通じて、化学実験、生物学実験の基礎を修得します。4年生の卒業論文では、植物生育環境学、生理活性物質化学、応用微生物学、植物工学、動物生殖工学などの分野の研究に取り組みます。

■ 自然環境学コース

昆虫学概論、生物環境システム学、山地環境学、自然エネルギー利用学、遺伝子多様性管理学、海洋基礎生態学、人間・環境相互影響論、水科学、魚類生態学、生物多様性管理学、動物生態学などの講義。実験・実習として自然環境学実習Ⅰ～Ⅳ、自然環境学実験Ⅰ・Ⅱ、昆虫学実験があります。

■ 流域環境工学コース

水資源学、流域計画学、施設工学、景観デザイン、流域水環境保全学、農地環境工学、環境評価学、環境管理計画学、科学・技術の倫理、流域環境学、環境情報学、土壌環境物理学、環境水質学、フィールドでの実験・実習、卒業論文など

■ 森林科学コース

森林育成学、森林生産機械学、森林測定学、森林経済学、木材物理学、木質成分化学、森林科学実習、森林統計学、測量学、測量学実習、森林環境政策学、山地測量設計実習、森林生産技術実習、森林科学専門実習、樹病学、樹病学実験、バイオマスエネルギー利用学、木質資源材料学など

■ 国際支援学コース

熱帯農業論、熱帯林業論、熱帯水産業論、熱帯環境論、海外フィールドサイエンス実習、海外課題研究、実用英会話、実用英作文、沿岸環境学、栽培学、測量学、沿岸環境学、国際農林水産業開発協力論、国際農林水産物市場論、樹木学実習、森林生産技術実習、養魚実習、農場実習など

「循環」「持続」「調和」をキーワードに、未来への課題を解決する

食料問題、資源問題及び環境問題は、ますます複雑に絡み合い現代社会の大きな課題となっています。

農学は、これらの問題を調和的に解決し、人類の未来を切り開く総合科学。

海・山・川・農地が近接する恵まれたフィールドを活かし、徹底した現場主義のもと

地域社会、国際社会に貢献できる新たな価値創造と先端技術に関する研究教育を行っています。

暖地農学コース

資源の少ない国と言われる日本。でもここ高知には360度広がる大きな空があり、豊富な光、暖かい気候があります。これら西南暖地の貴重な資源を最大限に活用し、循環型農業を実現するため、様々な農産物の生産管理や高度な環境調整、遺伝的改良など最先端の研究が行われています。

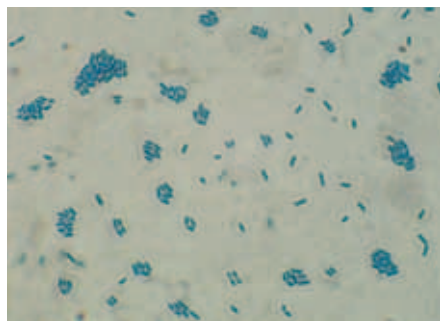
海洋生物生産学コース

海に取り囲まれた日本では、食料自給率を上げるためにも、海洋生物資源（魚介類）の生産と利用が今後ますます重要になります。本コースでは、海洋生物資源ならびにそれを育む海洋環境の重要性を認識し、その持続的生産・環境保全・有効利用に関して広く基礎知識を習得します。講義とともに、豊富な実験・実習を通じて応用力を身につけることにより、未来につながる海洋生物資源の保全と利用に関する思考力を備えた人材育成に努めています。

食料科学コース

未来志向の豊かな「食」づくり!

食料生産に関わる自然環境の理解と保全修復、食品及び食品成分が生体に与える機能を食品化学的・生化学的解明、機能性の高い食品やバイオテクノロジーを応用した機能材料の開発等、食の科学に立脚した教育・研究を行うとともに、安心、安全な「食」の実現と「生活の質」の向上につながる食品の開発に貢献できる人材の養成を目指しています。



生命化学コース

化学で生命を探る

私たちの生きるこの世界は、つきつめればすべて元素記号の組み合わせ=化学物質で成り立っています。生物もその例外ではなく、植物は根から様々な化学物質を吸収し自分の体を作りあげます。また、昆虫は化学物質を使って仲間を認識し、植物も体内で作りあげた化学物質で病原菌や害虫を牽制します。それら動植物・微生物の生命現象を個体レベルから分子レベルまで解析し、実用化への道を探る先端研究を行います。

自然環境学コース

自然界における化学、物理学、生物学、地学の諸法則を基礎とした自然環境の総合的な理解に立脚した、人間活動と自然環境との相互の影響と依存性を認識した人材や、それに立脚して持続可能な人間活動のための自然環境の制御と保全、及び環境との共生のために責任感を持って具体的に行動できる知識と能力を持った人材を育成します。

流域環境工学コース

流域環境工学コースは川でつながる森林・農地・市街地そして沿岸域までをフィールドとします。山地・里山の保全、水環境の保全、水の利用、水災害の防止、農村・都市での生活環境の改善などに関する教育・研究を通じて、流域に暮らす人間が水とうまく付き合い自然と共存するための理論と技術を学びます。当コースは日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定をうけた教育プログラムです。卒業生は技術士補の資格を取得でき、技術者にとって最も重要な資格である「技術士」の一次試験が免除されます。



森林科学コース

森林は環境を保全するとともに、様々な恵みを与えてくれます。地球環境に果たす森林の役割が理解されるようになってきましたが、自然環境の保全と循環型の資源利用システムの構築が重要な課題となってきました。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、森林資源の高度利用を目指します。亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林植生を抱える恵まれた高知県のフィールドで、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。森林と環境及び人間との関わりを総合的に研究するのが森林科学コースです。

国際支援学コース

熱帯・亜熱帯諸国を中心に、地域の環境保全を意識した持続的農林水産業の生産性の向上とそれに関わる資源管理についての問題の発掘、それらの解決に向けての技術開発並びに技術移転を実践的に担う人材の育成を行います。そのために、本県の立地条件を生かして熱帯・亜熱帯の環境を再現した条件下での実習・実験に重きを置いた教育を実施するとともに、海外の大学間・学部間協定校との交流を促進し、現地での実習や卒業論文研究などを実施します。また国際舞台で活躍するための英語教育を行います。



卒業後の進路

国家公務員、地方公務員、試験研究機関、大学院、各種団体（農業関係団体、森林・林業関係団体、水産業関係団体）、民間企業（農業機械・施設関連、食品関連業界、木材産業、木材流通、建設コンサルタント業界、環境アセスメント企業、測量・設計関連、土木・建設関連、情報関連業界、バイオ技術関連企業、食品・医療業界、魚介類養殖業界）



人生も地球の未来も、「持続可能」型で

教員 + 学生
農学部編

伊藤慶明教授 + 藤原朋幸



退学直前の出会い

藤原 僕は今年4年生ですが、実は大学6年目。前にいた研究室の実験がものすごく細かくて、自分に合わないと感じ退学を考えていた時、伊藤先生が声を掛けてくれました。

伊藤 彼は私のいる棟の下でよく休憩をしていたんです。違う研究室の学生でしたが、いつも見ていたので、最近何か様子が違うなあと気になって…（笑）。

藤原 退学願いを出そうとしていた直前でした。すごいタイミングで、とても嬉しかったです。今年の春から移らせていただいて、今は自分に適した研究に携わり、充実した毎日を送っています。

全国から魚介類に関する研究依頼が

伊藤 彼は見かけによらずフットワークが軽いです（笑）。研究の手伝いも惜しみなくやってくれるし、後輩の面倒見もよい。この間も、徳島県から依頼があったアオリイカの鮮度保持の研究で、彼が車を運転して泊まりがけで試料採集に行ってくれました。

藤原 現地のイカを仕入れ、向こうの水産試験場で実験をして戻ってきました。分析はここでやります。

伊藤 私たちのところには、こういうふうな全国の県や水産試験場、農林水産省、水産庁からの委託が来ます。そういう中から学生は自分のテーマを見つけて研究を行っています。

藤原 僕は全漁連から依頼のあったスサビノリに関するテーマを選びました。色落ちノリの有効活用と、養殖プリの体質改善を結びつけて、ノリを加えた飼料をプリに与えて養殖実験をしています。

伊藤 うちとはとにかく現場主義。プリの養殖試験場も、これだけの規模は日本でしょ。川も海もすぐそばにあるし、研究教育の場所としてはまさに最適な環境です。隣接する農場も広さは東京ドームの7倍と、こんな農学部は他にはないです。恵まれたフィールドを活かして、実践的な教育研究を行っています。

実験済みの魚はおいしくいただく!?

藤原 大学には、研究試料として依頼元から魚が大量に送られてきます。もったいないので研究が済んだら全部いただきます。プリとかカンパチとかは、嫌と言うほど食べてますね。

伊藤 今年は200キロくらい食べたね。

藤原 だから学生はみんな、魚のさばき方が上達します（笑）。干物も作れますよ。

伊藤 研究室のコンパでは大皿にきれいな刺身が盛られて出てきたり。

藤原 こんな風景も当たり前ですね。

ゆっくりでも自分らしい道を

藤原 先生からは、「常にベストではなくモアベターで」とよく言われます。ゆっくりでいいから一段ずつ上がって行きなさい、と。僕自身これまでも回り道だったので、納得いく道を一步步大切に進んで行きたいと思っています。

伊藤 『持続可能』という言葉が農学でもひとつのキーワードですが、人生も同じ。「Do your better」「better and better」の精神こそ、その秘訣だと思いますよ。

Profile

プロフィール



伊藤 慶明教授
農学科 海洋生物生産学コース
[代表的な研究]

魚肉のゲル形成機構に関する研究
高ワックス含量魚肉のすり身化に関する研究
海洋深層水の食品への利用に関する研究



藤原 朋幸
海洋生物生産学コース 4年生
大阪府出身

[研究テーマ]
養殖プリの体成分(タンパク質、脂質、遊離脂肪酸、遊離アミノ酸)に及ぼす色落ちノリ投餌の影響

Close up

日本を代表する“海と魚のスペシャリスト”



海洋生物生産学コースの各研究室には、様々な取材の依頼も多い。水産利用学研究室と水族栄養学研究室ではNHKの「ためてガッテン」に“プリの専門家”として学生たちと一緒に出演も。信頼できる専門家として、知名度も高い。

大学院

Graduate Schools

大学を卒業した後、さらに一層研鑽を積みたいと考える人たちのために、
本学の全ての学部の上に大学院があります。

修士課程

人文社会科学研究科修士課程

人文社会科学研究科は、人文科学と社会科学の2領域を総合的に捉え研究する、組織とカリキュラム編成を特色としています。従来のような限られた専門領域の知識・発想だけでは、これからの複雑な社会問題に対処できません。関連する他領域の学問成果にも精通することによって、新しい学問の展開が期待できます。多様な課題に柔軟に対応できる複眼的視野を持った優れた人材を育成します。社会人や外国人留学生も学びやすい特例(長期履修制度など)、授業科目を設けています。

■人文社会科学専攻 定員10名

教育学研究科修士課程

教育学研究科は、人間の発達や人間形成に関する基礎的理論及びその応用を探究し、専門的な研究能力と高度な教育実践能力を持ち、地域の教育・学術・文化・スポーツの課題に応えうる優れた教員の養成を目的としています。

学校教育専攻では、教育学・教育心理学・障害児教育等の基礎科学を基盤として学校教育の総合的な理論・実践研究を行っています。

教科教育専攻では、小学校・中学校・高等学校等の各教科の教育方法及び教科内容に関する専門研究を行っています。

■学校教育専攻 定員6名

■教科教育専攻 定員34名

理学研究科博士前期課程

博士前期課程は理学部と連結した展開教育を実施します。3専攻10講座(内2つは連携)は基礎科学ならびに応用科学分野で研究開発型及び問題解決型専門職業人を育成しています。また、研究面では「海洋」「資源」「新素材」「生命」「環境」などの国際的課題、「防災」「地域高度情報化」などの地域的課題にチャレンジしています。数理科学・情報科学・物質基礎科学・物質変換科学・生体機能物質工学・生物科学・地球環境科学・防災科学・海底資源科学(連携)・植物分類・地理学(連携)の講座があります。

■数理情報科学専攻 定員20名

■物質科学専攻 定員26名

■自然環境科学専攻 定員29名

医学系研究科修士課程

医学専攻は、自然科学系学部(理学、農学、薬学、工学)及び人文系学部(心理学、社会学、経済学、教育学等)を卒業した多様な人材に生命科学をはじめ医学・医療の諸問題を早期から体系的に教育することにより、独創的な発想のできる医学研究者・教育者、医療・福祉関連産業において活躍できる人材、福祉・行政分野において活躍できる専門家を育成することを目的としています。さらに、博士課程に進学することにより、独創的な発想のできる医学研究者・教育者になる道が開けています。また、昼夜開講制による社会人選抜枠を設けています。

看護学専攻では、看護活動の広範化・多様化に応じて、医療の現場を含む生活の場で必要とされる看護活動において、QOLの向上を目指しつつ、生活者の視点で対応できる能力を持ち、看護課題の解決能力と情報処理の知識、技術を有し、根拠に基づいた看護学を展開できる看護学教育者、看護実践者を育成することを目的としています。

■医科学専攻 定員15名

■看護学専攻 定員12名

農学研究科修士課程

農学研究科は、学部における一般的及び専門的教養のうえに広い視野にたって精深な学識を修め、専門分野における理論と応用能力を有する研究者と技術者の養成を目的として設置された大学院修士課程(2年)です。社会的要請に沿った新しい農学を構築するとともに、社会人や外国人留学生の積極的な受入れ等社会に開かれた大学院を目指しています。

■暖地農学専攻 定員13名

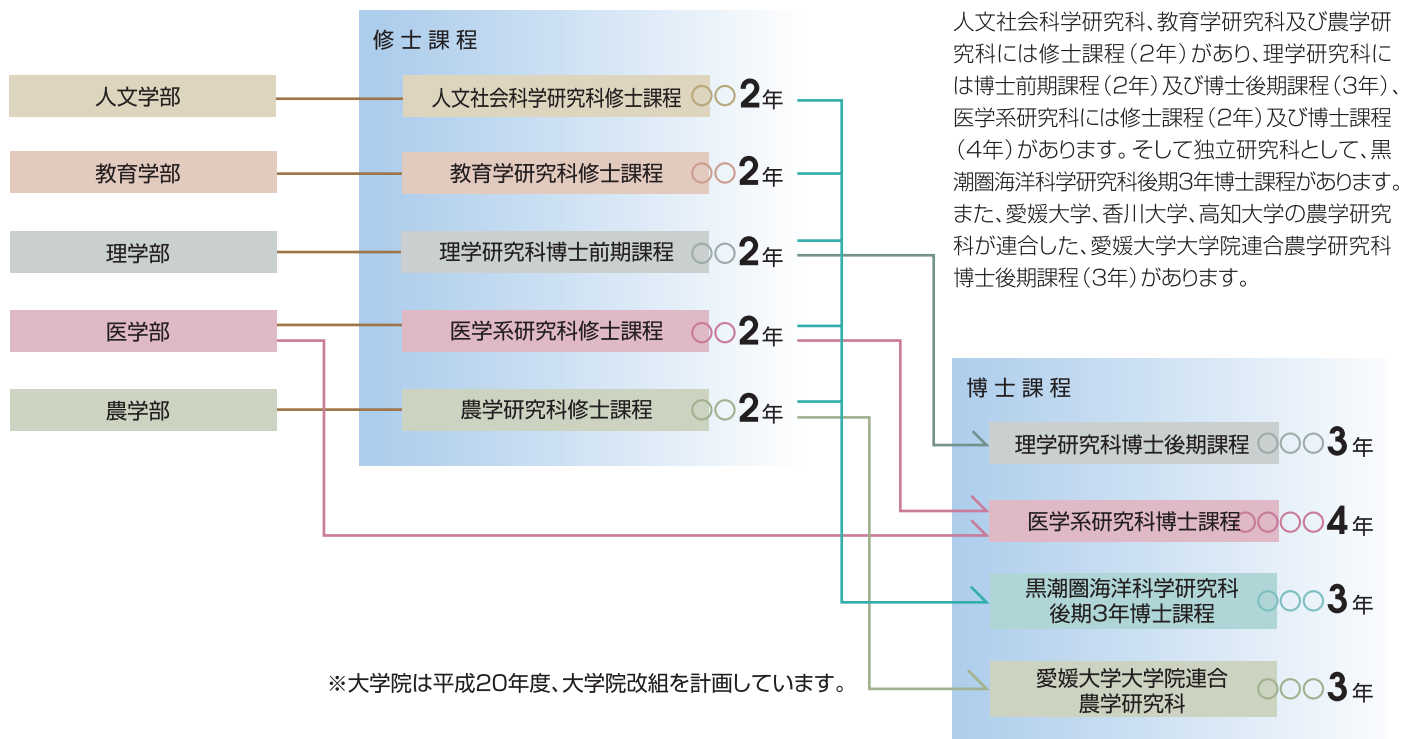
■森林科学専攻 定員11名

■栽培漁業学専攻 定員11名

■生産環境工学専攻 定員10名

■生物資源科学専攻 定員14名

大学院の流れ Degree Courses



博士課程

理学研究科博士後期課程

中国・四国地方で唯一太平洋に開かれた海洋高知の自然環境の特性を活かして、理学研究科博士後期課程は海洋と物質を2本柱とした高度な教育研究を行っています。海洋の未利用資源の探索・開発・保全を目標とする「海洋自然科学講座」と、新機能性物質・材料の開発や海洋生命科学の展開を目標とする「物質機能科学講座」は、正しい自然観と豊かな知性、広い学識と国際的感覚を持った高度専門職業人の育成を目指しています。また、他部局との協力や学外組織（海洋研究開発機構）との連携によって、境界領域や学際領域の研究開発を積極的に推進しています。

■ 応用理学専攻 定員6名

医学系研究科博士課程

高知医科大学において、昭和59年4月に大学院医学研究科博士課程が設置された後、平成15年10月に高知大学と統合、更に国立大学法人となった平成16年4月からは高知大学大学院 医学系研究科博士課程となりました。設置当初は、基礎医学と臨床医学を統合した、発生・形態系、機能・代謝系、生体制御系、環境・生態系の4専攻13部門から構成されていました。しかし、医学医療の変化ならびに高知県の地域特性に根ざした医学・医療上の高度な専門的ニーズに応えるため、平成12年に次の3専攻6部門に改・再編しました。

- (1) 総合的観点から生命科学を基礎とした医科学の研究を推進する「生命医学系」
- (2) 高知県という地域特性を重視し、中枢神経系をはじめとした高齢者に特有な疾患の病態解明と治療法の開発を目指す「神経科学系」
- (3) 環境因子と生体機能との相互作用の観点から教育研究を推進する「社会医学系」

現在162名(1~4学年)の大学院生が在籍しています。また、平成19年3月末までに、課程博士362名、論文博士278名の合計640名が博士(医学)の学位を取得しています。

- 生命医学系専攻 定員19名
- 神経科学系専攻 定員5名
- 社会医学系専攻 定員6名

黒潮圏海洋科学研究科後期3年博士課程

我が国をはじめ、東アジア及び東南アジアの広大な地域が黒潮から多大な恩恵を受けています。黒潮の影響を受けるこれらの地域を抱合して「黒潮圏」と称し、海域のみならず陸域を含めて「黒潮流域圏」と呼び、この黒潮圏の「資源」・「環境・社会」・「医学・健康」を総合的に研究教育する我が国唯一の独立研究科(後期3年の課程のみの博士課程)であり、高度な専門知識を持つとともにグローバルな感覚で国際社会において活躍できる研究者や職業人といった人材の育成、地域産業経済の活性化、生活と健康、異文化相互理解などに貢献することを目指しています。

この研究科では「流域圏資源科学講座」、「流域圏環境科学講座」、「海洋健康医学講座」の3講座を設置し、それぞれが他の2講座を補完する関係となっています。

■ 黒潮圏海洋科学専攻 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野をもった研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

- 生物資源生産学専攻 定員9名
- 生物資源利用学専攻 定員4名
- 生物環境保全学専攻 定員4名

国際交流

International Exchange

外国の大学に留学し学ぶことは、学位や単位の取得だけでなく日々の生活体験を通じて異文化に触れ、同時に日本文化を伝える上で大きな意義を持ちます。

また学内においても、外国人留学生との交流をはかることで、国際的な視野を広げることができます。

高知大学は、大学独自の奨学金制度を設け、海外への留学・外国人留学生を支援しています。

国際交流協定校（大学間協定）2007.3.31現在



国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居施設として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス（医学部）及び物部キャンパス（農学部）に設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

留学室

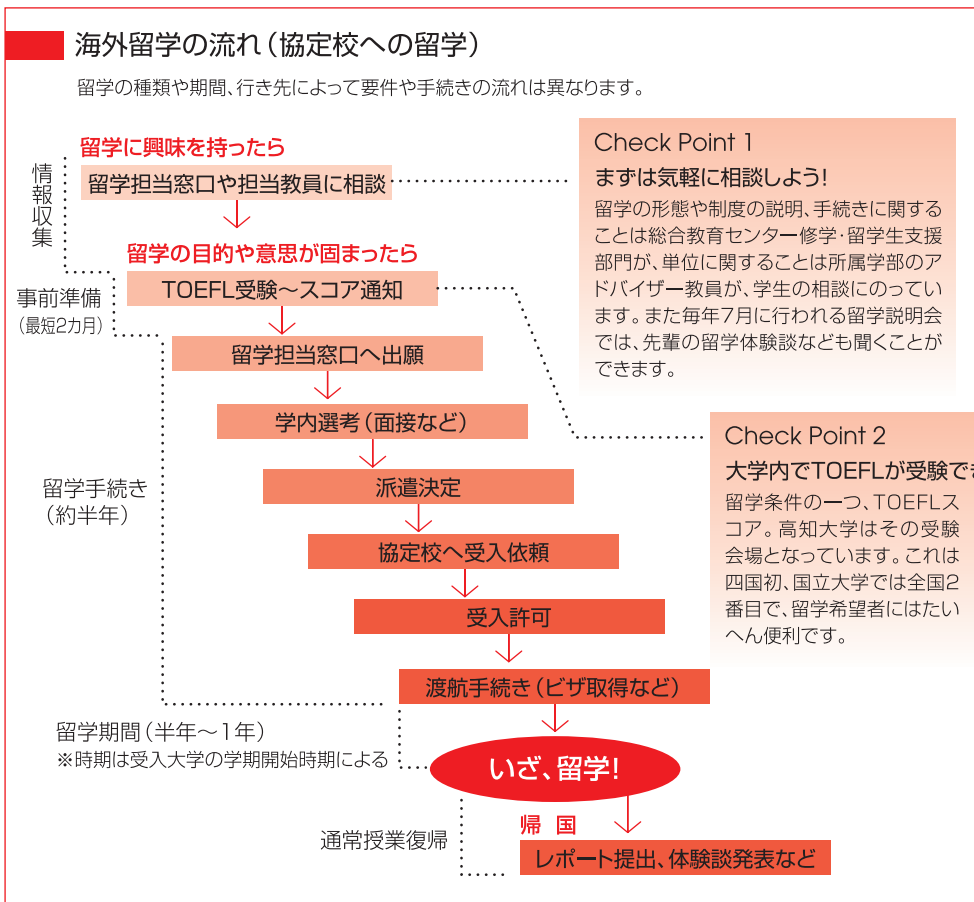
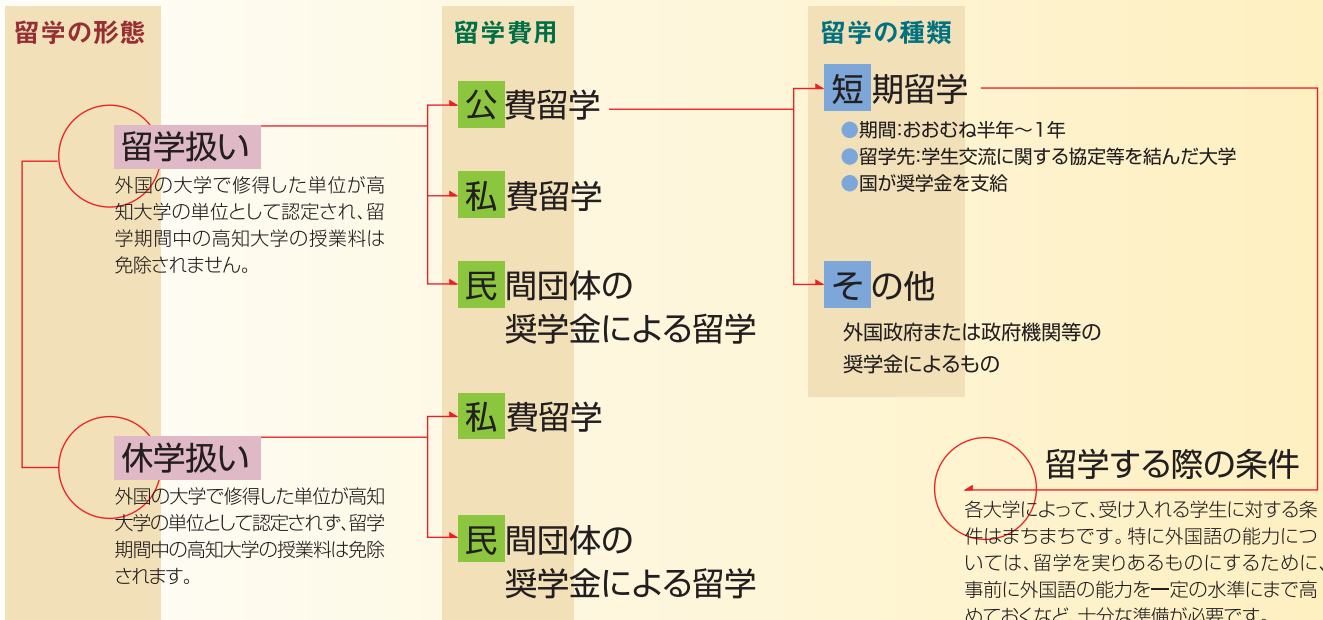
外国人留学生に対する修学及び生活上の指導助言を行うとともに、海外留学を希望する学生に対して交流協定校の情報提供や、留学先の修学及び生活上の指導助言を行っています。個人相談も受けることができますので、留学に興味のある方は気軽に訪ねてください。



▶留学室からアドバイス

大切なのは、何のために留学するのか、どういうことを学びたいのかという目的意識です。それさえしっかり持っていれば、あとは私たちスタッフが精一杯サポートします。まずは気軽に相談しにきてください。

海外留学について 現在高知大学では、アメリカや中国など14ヶ国34大学等と学生交流協定を結んでいます。



TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。インターネット版TOEFLテスト (iBT) は、高知大学で受験可能です。受験日については、ETS (Educational Testing Service) または、CIEE (国際教育交換協議会) のホームページで確認してください。

留学における学び

ふつうの大学生活では得られないグローバルな経験をたくさん積める海外留学。ここでは海外留学を経験してきた学生の体験談をご紹介します。



自分にとってかけがえのない人生の転機

人文学部
国際社会コミュニケーション学科3年生
赤星 講平

私は2年生の後期から3年生の前期にかけて、カリフォルニア州立大学フレズノ校で交換留学生として勉強してきました。ここで約10ヶ月間の留學生生活は、自分にとってかけがえのない人生の転機になりました。

大学では主に国際政治学、国際経済学の講義を受講しました。初めはクラス内で交わされる英語も全く理解できませんでした。それに加えて読書課題やレポートの多さに呆然とし、日本とは全く異なった高度な教育システムの中で大きなプレッシャーを感じながらのスタートでした。

そんな中、サッカーを通してアメリカ人や留學生の多くの友人を得ることができたのは本当に幸運だったと思います。寮の学生を中心にインドアサッカーリーグに参加することで、チームメイトと強い絆を構築することができました。彼らと楽しみながら汗を流しコミュニケーションをとることで、学業や慣れない生活のストレスを発散し、英語での生活によりスムーズに順応することができました。

友人たちと励まし合いながら必死に勉強し、徐々に講義を楽しめるようになっていきました。そのような中で始めた、近くの短大の日本語クラスでのチューター のボランティアでは、日本語を教えることの楽しさや難しさだけでなく、自国の文化やそれを伝える大切さも学ぶことができました。

10ヶ月間の留學生生活で培ったバイタリティや、時間を有効に使う技術は、私にとって今、大学生生活はもとより自分の人生における大きな財産になっています。多くの友人や貴重な体験、そしていつでも自分のベストを尽くそうという姿勢など、ここで手に入れたものをこれからの

自分の大きな糧としていきたいです。

チューター:学習の手助けや助言などをする

赤星くんの留学スケジュール



(17単位認定)

カリフォルニア州立大学フレズノ校

California State University, Fresnoは1911年に設立。フレズノは、アメリカ・カリフォルニア州のほぼ中心にある都市で、大学はフレズノ市の北東部、シエラネバダ山脈の麓に位置する。2万人の学生が学んでおり、農学・テクノロジー学部、教養・人文科学学部、経営学部、工学部、健康科学・人間科学部、理数学部、社会科学部があり、大学院修士課程及び博士課程等があります。

留學生の派遣実績(6ヶ月以上)

2004年度 公費留学1名 私費留学3名 派遣国:オーストラリア、アメリカ、タイ	2005年度 公費留学1名 私費留学5名 派遣国:アメリカ、タイ、韓国	2006年度 公費留学1名 私費留学2名 派遣国:オーストラリア、タイ、中国
---	--	---



日本や自分自身のあり方・考え方を見つめなおす きっかけに

医学部
看護学科3年生
安達 千春

私は、2006年9月に3週間、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学(UBC)看護学科の授業に参加しました。到着した頃は、周囲の英語を聞きとることができず、そんな自分にいららすることも多かったのですが、生活していくうちに少しずつ耳が慣れていきました。

UBCの授業は、私にとってとても刺激的でした。授業中は絶えず誰かが手をあげて、先生に質問します。わからないことや問題を共有して、みんなで解決します。日本で私が体験してきた授業は、先生が板書をし、それを書き写すというものや、配布資料に目を通すことで精一杯というものも多かったので、活発に発言が飛び交う授業風景に圧倒されるばかりでした。

UBCの看護学科の学生たちは、みんな積極的で行動的です。私は、短い期間でしたが彼らと一緒に看護を学んだことで、ただ物事を見たり聞いたり感じたりするだけでは駄目だと思ふようになりました。行く前は、「海外の看護を少しでも知れたらいいな」とか「いろんなこと体験したいな」と思っていました。それは誰だってできることであり、そこから何かを始めなければ、自分にとって何の意味もないと感じるようになりました。確かに新しい経験は、自分の価値観に大きな影響を与えます。私も文化や習慣の違いをはじめ、様々なことに大きな衝撃を受け、日本のことや自分自身の今までのあり方・考え方などを見つめなおす機会が増えました。

今までの私はどこか受身で、自主性とか自立心が欠けていたと気づきました。授業中にわからないことがあったら後で調べれば、と思う、質問したくても何だか恥ずかしくて言い出せないこともありました。日本では黙って

いることが良いと思われがちで、みんなの前で意見を堂々と主張すると、あまり良い印象を与えないこともあります。文化の違い、これはとても難しい問題ですが、これからは自分が良いと思ったことは取り入れて、実行していきたいと思っています。



左端が安達さん

安達さんの留学スケジュール



(単位取得なし)

プリティッシュ・コロンビア大学



UBC(University of British Columbia)は1915年に設立。カナダ・バンクーバー市内からバスで西に30分、突き出た半島にある巨大なキャンパス(500以上の学科、図書館6つ、博物館や日本庭園、レストラン、電化ショップ等あり)には、現在約4万人の学生が学び、留学生の出身国は110カ国にのびます。



外国人留学生の受入状況(2007.3.1現在)

受入学生数:177名

外国人留学生と日本人学生との交流は、学内外で盛んに行われています。

来日後問もない外国人留学生に、上級生が1対1で学習指導や日常生活のアドバイスをするチューター制度や、パートナー(友人)となってアドバイスをするパートナーシップのほか、国際交流サークルなどでは季節ごとに交流イベントが行われています。

高知発 人と地球の未来行き

高知大学には学部横断的かつ重点的に進められている研究プロジェクトがあります。高知県というフィールドの中でその特性を活かしてどのような研究が行われているのか——ここで、興味のかげらを手にとってみませんか？

現在進行中… 4つの研究プロジェクト

バイオ・ファンクショナルマテリアルを基盤にした環境・先端医療分野への研究展開

バイオ・先端医療プロジェクトチーム

人類と環境との共生に対し、物質科学の視点から取り組もうとする先導的研究。物質科学と機能材料工学、生命科学と生命工学、癌・感染症と再生医療の3つで構成され、三者が重なり合う部分はグリーンサイエンス&テクノロジーとして共有される。以下の4つの課題を重点的に進めている。

課題1 本学が顕著な業績を上げている水熱化学、合成化学、天然物化学、材料科学などを基盤に、環境調和型の物質変換科学の確立を目指す。

課題2 生命基本素子の構造と機能、細胞内外のシグナル(環境)に対する細胞応答を研究する。また生体分子の機能開拓を重点的に行う。

課題3 悪性腫瘍の発生・転移抑制・浸潤制御、更に診断・治療に関連した研究が進行中で、PETの活用、ペプチド療法や遺伝子治療の開発が進展中である。また、悪性腫瘍との関連において細菌、真菌などの感染制御も重要な問題である。

課題4 特に匂いの記憶・学習における分子生物学的研究や神経系発達と特定の遺伝子との関連性のほか、パーキンソン病等の脳脊髄疾患に対する神経細胞移植、血管新生に関する細胞の再生についての臨床応用を目指した研究が進行中である。

地球掘削コアを用いた地球環境・地球ダイナミクス・地下圏微生物の総合的研究

コア研究プロジェクトチーム

地球深部の物理・化学的性質や未知の地殻内微生物圏を探るための貴重な研究試料である掘削コアを用いて、地球科学・化学・生物学などの専門基礎研究や関連分野での応用研究を行う。掘削コアの国際的研究拠点として設置された海洋コア総合研究センターを中心に、3つの課題研究が行われている。

課題1 地域の特性を活かした「人と自然の共生」のために、黒潮圏の自然史(地盤や自然環境、生命の成り立ちや維持のしくみ)を解明する。

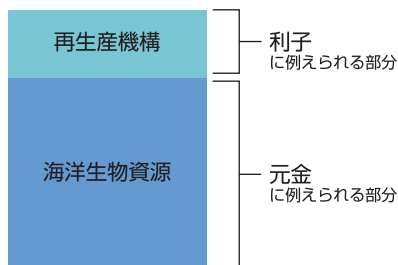
課題2 グローバルからローカル、数十万年から数十年と様々なスケールで密接に絡みあう地球環境変化を、海洋掘削コアから解き明かす。

課題3 深海底などに生息する生物の生命戦略を解明し、それらの遺伝情報や遺伝子資源を様々な分野で有効利用するための研究を行う。

海洋生態系の解明とその資源の持続的有効利用

海洋生物研究プロジェクトチーム

海の生態系を知り海洋生物の再生産機構を解明することで、生物資源の量と量を減らすことなく再生産の範囲内で資源を有効利用し、持続的にその利益を享受してという研究。



海洋生物資源を貯蓄に例えると、「利子」の部分を活用していれば元の量…つまり「元金」は減らない、という考え方。

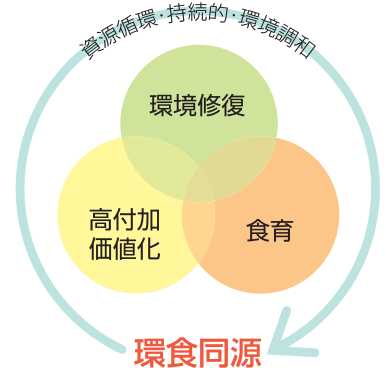
環食同源

～環境保全型食糧生産システムの構築～



環食同源(フィールドサイエンス)プロジェクトチーム

安全な食料を生産することで同時に健全な環境を創り、地球環境を修復・維持していかうというのが目標。そのために地産地消()をベースに、循環型の食料生産と食料の高付加価値化を両立させ、それを持続させるため食育を推進している。



地産地消:ある限られた地域で生産した食物を、その地域で消費すること

地球の謎を解き、未来につなげる —コア研究プロジェクトチームの取り組み—

掘削コアは、地球の昔が詰まったレコーダー？!

掘削コアとは、地面や海底をくり抜いて抽出した泥や岩石などの試料のことです(写真1)。地下の堆積物は地球環境変動の歴史が刻まれた、いわばレコーダーのようなもの。私たちのチームはそのコアに含まれる地磁気の記録を解析して、研究を行っています。

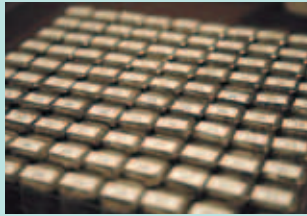


写真1 海底掘削コアから取り出した試料。貴重なものでは、20億年前の試料もある。

地磁気の記録 —— N極とS極の逆転の歴史

地磁気を調べるのは、過去地球の磁場が一定ではなかったから。現在はN極が北極、S極が南極を向っていますが、実はこれまで何度も逆転を繰り返してきているのです。その年代表の一部がこれ(写真2)。過去2億年まで解明されています。岩石の

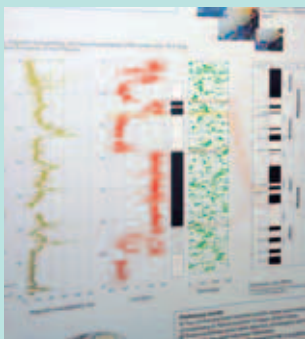


写真2 パーコードのような地磁気の年代表。黒い帯が現在と同じ正磁極の時代、白が逆磁極の時代。

中にはごくわずかですが磁石の性質をもつ粒子があり、その粒子はコンパスのように当時の地磁気の方角を向いたまま固まっています。それを測定し年代表と照らし合わせると、例えば化石などが含まれていない地層の年代を特定できます。さらには地殻変動や気候変化の歴史の解明などにも応用できるのです。

掘削コア研究における世界の中心地に

これらの解析や研究には最先端の設備が欠かせません。それを実現したのが、高知大学海洋コア総合研究センターです。例えばこの部屋(写真3)。一見、何の変哲もありませんが、実は世界最大の性能・規模を誇る磁気シールドルームです。掘削コアに含まれるごく微弱の磁気を測定するためには現在の地磁気が邪魔になる。そこでシャットアウトするので。

他にも日本に数台しかない超伝導磁力計や、化学や生物学分野からのアプローチをするための機器も充実しています。海洋コア総合研究センターは



写真3 磁気シールドルーム。この部屋の中ではコンパスは一切機能しない。

Profile

プロフィール



小玉 一人教授
コア研究プロジェクトチーム
主な研究テーマは、古地磁気層位学、古地磁気学のテクトニクスへの応用、極限下の岩石磁気学など。共通教育でも授業を担当しているため、興味のある人はシラバスをチェックしてみてください。

高知大学の施設であると同時に他の大学や研究機関の研究者も利用できる全国共同利用施設。年間20~30件の研究テーマを受け入れています。場所は問題ではない。いい設備いい研究者がいれば、そこが自ずと世界の中心地となるのです。

2008年度の入学生には大きなチャンスが!

来年度からは、IODP(統合国際深海掘削計画)という日米主導の国際計画が本格化します。これは海洋科学技術センターの地球深部探査船「ちきゅう」などを用いて実施されますが、「ちきゅう」が掘削した深海底コアは高知に運ばれ、ここを拠点に本格的な研究が行われます。つまり、これから入学する学生には大変大きなチャンスなのです。掘削コアの中でも深海底の泥は、より長い年月の記録が凝縮されている非常に研究価値の高い試料。深海底の堆積スピードは遅いところなら千年に数ミリ。ただか1cmの試料の中に1万年もの記録が凝縮されていたりします。この試料をあらゆる分野から多角的に解析し、人と地球の未来に役立てるのが私たちの使命です。

誰にでも、扉は開かれている

このプロジェクトには、理学部の地球科学系や物理学系の学生をはじめ、農学部、医学部、教育学部など様々な分野の教員や学生が参画しています。IODPが本格化すれば、全国、全世界の研究者との交流もますます盛んになるでしょう。異なる分野のスペシャリストと話ができる。様々な目線、考え方に触れられる。グローバルで密度の高い交流ができる。そんなチャンスがここにあります。あなたもぜひ高知大学に来て、私たちと一緒に未知なる扉を開いてみませんか。

教育研究施設

Educational Research Facilities

総合教育センター

総合教育センターでは、高知大学における全学生共通に必要なとされる人間的資質及び能力養成のための教育プログラムなどの研究・開発・試行を行います。そして、学部・大学院、その他関連組織などととも、21世紀の知識基盤社会において才能ある人材を育成するための効果的で新しい仕組みを総合的に創り出していくことを目的としています。

大学教育創造部門

共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、FD(※)の企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどについて取り組んでいます。

FD(ファカルティディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称。

キャリア形成支援部門

キャリア形成にかかわる教育などの企画・実施を行ったり、インターンシップ(短期間の就業体験)等の支援を行っています。また就職・進学の支援と相談にも応じています。



入試部門

選抜の方法やそのあり方の研究、また入学後の成績追跡調査などを行っています。

修学・留学生支援部門

学生の心身にわたる健康に関する支援、修学・正課外教育、学生ボランティア活動の支援、学生の生活支援、留学生の受入れ、留学生教育の実施、及び留学希望者支援等、幅広く取り組んでいます。



総合研究センター

総合研究センターは、人的資源、知的財産、設備・施設を最大限活用して、全学的な重点研究プロジェクトなどへの支援強化を図るとともに、本学の研究・教育の進展に寄与することにより、個性豊かな地域の大学を創り出すことに貢献します。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育及び地域連携
- 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育及び地域連携

の3つの機能を持っています。

海洋部門

■ 海洋生物研究教育施設

海洋生物学、水産学及びそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類の他に海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。



生命・機能物質部門

■ 遺伝子実験施設

遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。組換えDNA実験指針に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、組換えDNA実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割が期待されています。

■ 実験実習機器施設

生命科学の教育、研究に必要な設備、機器を整備し、共同研究の効率化を図り、本学における教育及び研究の向上、発展に貢献しています。施設には、生化学系、形態系、生理系、免疫系、バイオハザード系の5つの系があり、それぞれの研究に必要な大型機器が完備されており、大学内の研究者がいつでも利用できます。配属職員は、機器の維持管理のほか若手研究者、大学院生向けの技術研修会の開催、地域貢献の一環として毎年高校生を対象にしたサイエンス体験学習教室を開催しています。塩基配列測定などは、学内から送られて来たサンプルを測定し、データをWeb配信するサービスも行っています。

■ RI実験施設

放射性同位元素を用いた実験に関する研究、教育、安全管理を行い、医学・生命科学の研究の発展に貢献しています。

■ 動物実験施設

生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の養成に貢献します。



防災部門(南海地震防災支援センター)

南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携を図り、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。

総合情報センター



メディアの森

総合情報センターには図書部門と情報部門が設けられ、図書と情報を融合させることによって学内の大学情報基盤を一元的に管理運用し、大学における情報活動を高度に支援しようとしています。さらに、学習・教育・研究活動の活性化と大学運営業務の効率化を促進し、地域社会に対する情報化の支援とデータウェアハウスとして学術情報などの提供及び公開などを通じて地域に貢献していくことを目的としています。

図書部門

図書部門は、朝倉キャンパスの中央館、岡豊キャンパスの医学部分館、物部キャンパスの農学部分館に分かれています。蔵書数約75万冊、学術雑誌18,000種を備え、資料は全て手にとって見ることのできる全面開架方式を採用しています。所蔵図書はオンライン検索ができます。

情報部門

大容量・高速演算処理、インターネットの利用、情報教育の支援、電子図書館の機能の支援など、情報処理のための機器を配備し、大学のあらゆる情報活動を高度に支援します。特に情報教育関連の授業で使用されており、さらに、e-Learningによる自主学習や、グラフィック処理ソフトの利用、各周辺機器の利用など、授業外での自習でも利用できます。

国際・地域連携センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

国際・地域連携センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与するとともに、高知大学の有する人的資源、知的財産、施設を活用して、地域社会との緊密な連携を推進することにより、地域社会における人材の育成、科学の発展、技術開発及び産業の活性化に貢献するとともに、生涯学習、地域文化交流、健康福祉の向上及び地域課題の解決支援に資することを使命とします。また、その地域社会との連携で培ったノウハウを、アジア・太平洋地域を中心とした国々との連携に活用し、併せて国際社会に貢献していくことを目指します。



生涯学習部門

地域社会における高等教育の享受のための機会拡大と、生涯学習に資する場や学術情報の提供を行うとともに、地域社会の文化的交流のための取り組みを推進します。

知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

産学官民連携部門

教育研究、共同研究、受託研究及び生涯学習研究を通じた教育研究成果を地域社会に還元し、地域の活性化を支援します。

国際交流部門

教育研究等の国際的な連携及び国際的な大学間交流を推進し、地域の国際化にも寄与します。

全国共同利用施設

■ 海洋コア総合研究センター

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として、海洋研究開発機構（JAMSTEC）との共同運用体制のもと設立されました。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2004年からは全国共同利用研究が本格的にスタートし、年間40数件の研究課題が採択され、本センターの卓越した研究環境を活かした共同研究が行われています。



保健管理センター



保健管理センターは、学生が心身ともにより良い健康状態で学生生活を送ることができるように様々な支援業務を行っています。

毎年春に健康診断を実施し、病気の早期発見や予防、健康の自主管理のための指導を行い、学生の健康保持と増進に努めています。専任の医師、看護師、さらに学外から定期的に招く専門医やカウンセラーが医療相談、カウンセリングを行っています。また授業中や課外活動中の不慮のケガや、病気に対する応急手当て、種々の悩みごとの相談にも応じていますし、課外活動などには、事前の申し込みがあれば救急カバンの貸出しも行っていきます。

学部附属施設

Special Facilities Affiliated with Faculties

教育学部附属教育実践総合センター

教育実践の理論的研究と実践的指導を推進する研究機関であり、地域との教育研究の交流の場として、大きな役割を果たしています。当センターでは、専任教員に学部内外の研究スタッフが加わって、教育実践、教育臨床、教育情報の3つの分野で様々な活動を行っており、同時に教育学部学生の教職実践力向上や、県内の現職教員の研究・研修の場としても役立てられています。具体的な活動内容は、各種の研究会・研修会、公開講座やシンポジウム等の開催、教育に関する講習会の実施、研究紀要や定期刊行物の発行による学部内外の研究交流促進などです。



教育学部附属小学校/附属中学校 附属特別支援学校/附属幼稚園

附属学校園は、教育研究と教育実習指導を主な使命としています。現在の4校園は、各校園種の教員免許状を取得する教育学部学生にとっては適切な実習校であり、大学院生にとっては学習教育、教科教育実践研究のフィールドとしての役割も果たしています。今や教育学部にとっては、一層不可欠な教育と研究のパートナーです。



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校



附属幼稚園

理学部附属水熱化学実験所

高温高压下の水が関与する水熱反応について専門的に研究を行うために設立された、全国唯一の研究機関です。水熱反応は物理・化学・地学の分野にまたがり、理学的な基礎の上立った応用範囲の広い研究分野です。国内外の大学や公立研究機関、民間企業と共同で研究を行い、機能性セラミックス粉末や薄膜合成、光学材料用単結晶育成、フロン等の環境汚染物質の分解、産業廃棄物の処理処分と有効利用など、様々な分野で多くの研究成果をあげてきました。研究分野が広だけでなく、理学部の4年生や博士前期・後期課程の学生の他に、外国人博士研究員や民間企業の研究者も実験所で一緒に研究を行うため、学生諸君は幅広い学力や国際性を身につけることができます。



理学部附属高知地震観測所



四国地方の地震現象を解明するため、本所を含めて四国内に8か所の常時観測点を有し、隣接する大学の地震観測所との間で、通信回線を利用した波形データの交換を行っています。観測の対象となる地震は、四国付近のほか、地球の中心を伝播してくる南米の大地震まで、多種多様です。過去に繰り返し発生している南海地震と関連する四国付近の微小地震の時空間分布、地震発生のメカニズム、最上部マントルまでの詳しい速度構造などを研究テーマとしており、これらはおもに防災科学コース卒論の研究課題にもなっています。

医学部附属病院

附属病院には1,000名を超える職員が働いています。患者さんの生命をお預かりするとともに、明日の医療を担う医師、看護師、薬剤師、技師などのスタッフを養成する役割を担っています。新しい研究テーマも生まれ、その果実がまた患者さんのQOLを高めるために活かされていきます。医療、教育、研究の質とともに、経営の質も考慮に入れた新しい病院として機能していきます。2006年4月には高知県で初めてPET-CTを導入し、8月には都道府県がん診療連携拠点病院に指定されるなど、県民の期待に応える取り組みをしています。また、患者さんたちは、学生による病院のボランティア活動にも期待しています。



医学部附属医学情報センター

医学情報センターは、昭和56年の附属病院開院時に自主開発による我が国初の総合医療情報システム (IMIS: Integrated Medical Information System) を稼働させて以来、附属病院業務の改善に大きく貢献してきました。IMISはその後の我が国におけるモデルケースとなり、他大学や病院における医療情報システムの広範な普及の発端となりました。



この功績により日本科学技術連盟による昭和58年度の“石川賞”を受賞し、昭和60年には文部省令による医学部附属医学情報センターとなり今日に至っています。

このIMISは平成14年に全面更新され、我が国の医学界をリードする新IMISとして電子カルテシステムや医療工程管理システムとなりました。IMISには、開院以来日々の診療に伴って発生する様々なデータが全て蓄積され、この世界的にも例を見ない25年以上にわたる貴重なデータは様々な研究に活用されています。

また、医学情報センターは情報教育に積極的に取り組み続けており、現在では情報科学体験学習、情報科学、医学統計学、医療情報を担当しています。



農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター

フィールドサイエンスに関する教育研究の推進と共同研究等による地域及び国際社会への貢献を目的に、旧農学部附属農場と同演習林を統合して平成15年4月に設置されました。

交流企画推進部門

フィールドサイエンスに関する教育プログラムの開発、教育・研究指導や国内及び国際研究機関との共同研究・プロジェクト研究の企画調整を行います。

循環型暖地農業生産部門

物部キャンパス内にある南国フィールド(農場、総面積約18ha)には、稲、野菜、花、果樹、飼料作物、褐毛和種牛等が栽培・飼育されており、環境保全を考慮した循環型農業生産に関する実習教育・研究、技術開発、技術支援を行います。

森林生産環境部門

四国山地の南側に位置する嶺北フィールド(演習林)は、約127haを有し、スギやヒノキの植林地とモミや広葉樹の天然林が広がり、多様な森林を形成しています。森林環境や循環型生産に関する実習教育・研究、技術開発、技術支援を行います。



課外活動施設

体育施設が朝倉キャンパス・岡豊キャンパス及び物部キャンパスの3か所にあり、体育系の課外活動などに利用されています。その概要は下記の通りです。朝倉キャンパス・岡豊キャンパスには、課外活動共同施設もあり、サークルの部室などに使用されています。また文化系の課外活動には、朝倉キャンパス内の学生会館を利用することができます。大小の集会室や談話室、和室などがあります。

朝倉キャンパス



運動場(サッカー・野球)=10,506m²
 陸上競技場=18,723m²
 弓道場=89m²
 柔・剣道場=400m²
 体育館=1,649m²
 (バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ダンス・体操)
 プール=1,540m²
 テニスコート=7面
 体育館=1,145m²

岡豊キャンパス



陸上競技場(サッカー)=14,440m²
 野球場=12,286m²
 体育館=1,092m²
 武道場=363m²
 弓道場=129m²
 テニスコート=5面
 プール50m 7コース



運動場(サッカー・ラグビー・野球)=15,892m²
 テニスコート=3面
 体育館=1,077m²



物部キャンパス

キャンパスライフ

Campus Life

キャンパスライフは皆さんが、良き社会人、地球人として自立する知識、技術を学び、体験し、体得するためにあるもの。そういう意味で本業の学業はもちろん、様々なサークル活動、そして学外での生活も含め、全てが同じように大切だと考えます。

本学に在籍する数年間が、皆さんにとって豊かな、輝かしい人生の数年間であってほしい・・・。

本学ではそのキャンパスライフをできる限り支援する体制を整えています。

学内厚生施設 Public welfare facilities



喫茶(朝倉キャンパス)



大学生協購買部(朝倉キャンパス)



書籍部(朝倉キャンパス)

食堂・喫茶

朝倉キャンパスには学生会館に食堂と喫茶が、岡豊キャンパス(医学部)には医学部会館に食堂と喫茶が、また、物部キャンパス(農学部)には日章会館に食堂がそれぞれあります。朝倉キャンパスと物部キャンパスは高知大学生生活協同組合(生協)の運営で、組合員は安い価格で利用できるようになっています。また、岡豊キャンパスには附属病院内に病院食堂もあります。

購買部・書籍部

全てのキャンパス内に、学生や教職員が必要となる商品を品揃えした書店と売店があります。書店では教科書、参考書、専門書、一般書、辞典、雑誌などを、売店では文房具、日用品、食料品など各種商品を取り扱っています。朝倉キャンパスの売店には、パソコンなどの電化製品や航空券、JR切符、電話取り付け、自動車教習所、引越サービス、各種チケットなどを取り扱うコーナーがあり、運営は生協が行っています。

また、朝倉キャンパスには正門付近に郵便局・銀行のキャッシュコーナーや理容サービスが、岡豊キャンパスには附属病院内に売店、薬店、簡易郵便局、さらに郵便局・銀行のキャッシュコーナーや理容美容室もあります。

Voice

森 敏寛さん
大学生協食堂部



大学生協はキャンパスライフの様々な場面に関わっています。食堂、書籍部、購買部があり、共済や下宿紹介、パソコンの販売・修理、インターネット回線の接続などもやっています。

食堂で好評なのは「ミールカード」。これは1年間使える学食カードで、1日1,000円まで食べ放題。16万円(2007年度)で販売していますが、年間営業日数が約270日なので全営業日使えばなんと27万円分ほど食べられお得です! 栄養価を考えた豊富なメニューは、地域の「食育」拠点高知大学ならではの、食事歴のレポートを1カ月ごとにお送りしているので、食べたメニューやカロリーもわかり親御さんも安心ですよ。

また、カフェ横の学生広場では昼休みにブレイクダンスのパフォーマンスがあったりよさこい踊りの練習をしていたりと、大学生協付近は楽しいことがいっぱい。上手に利用して下さい!!



学生さんに聞くと、「ミールカードでいかに食べ尽くすかに執念を燃やしている学生も多い」のだそう。

Topics.....

高知大学せんべい、デビュー!



購買部で今一番人気の高知大グッズと言えば、この「大学せんべい」。何でも、春に日本水産学会が高知大学で開かれた時、何かおみやげになる食べ物は何と聞かれたのがきっかけとか。やってみよう! と思い立ったらすぐに実行するのが土佐人気質。生協職員、大学広報室、学生と一緒に、素材の検討から試食アンケートまで一気に進み、9月には商品化したというからスゴイ。

さらに第二弾として、農学部の教授陣が参画して「環境と健康にいいせんべい」づくりが進行中とのこと。あなたも、高知大学に来たらこの大学せんべいをぜひお試しあれ!

パッケージは、人文学部社会科学部研究科1年の藤浦五月さんのデザインです。

学生寮 Accommodation

4つの学生寮がありますが、入寮希望者は定められた手続きによって入寮し、入寮後は管理運営規則に従うことになります。各寮の概要は以下の通りです。

かつら寮



Voice

おじま
小島 佳代さん
南浜寮 寮母



学生寮には寮母、会計、栄養士、調理師などがあり、寮生活のお手伝いをしています。一番気を遣っているのは健康面で、病気が流行しないよう衛生面や体調管理のサポートをしたり、食事もおいしくて栄養もボリュームもたっぷりのものを用意しています。

学生さん達は普段からよく規律を守って生活していて、廊下では必ず大きな声で挨拶を交わしていますね。お互いに尊重しあい、何かあってもよく話し合いをしながら自分達自身で解決しているようです。そういう過程も大切。学問と同じくらい価値があると思っています。突拍子もない出来事?そりゃあ数え切れません!(笑)でも学生らしくていい。どこの寮も活気があって、きっと楽しい学生生活が送れると思いますよ。

寮名	性別 (定員)	月額寮費	部屋・その他
南浜寮	男子 (242人)	約20,000円	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)
かつら寮	女子 (60人)	約20,000円	2人部屋(和室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)
ときわ寮	女子 (80人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)
日章寮	男子 (60人)	約9,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)

ときわ寮



南浜寮



日章寮



サークルライフ Circle Life

高知大学のサークル活動は文化系・体育系ともに活発です。朝倉キャンパスには約60、岡豊キャンパス(医学部)には約40の大学公認サークルがあり、学生の半数近くがそのいずれかに所属しています。活動は主にキャンパス内を中心に行われますが、他大学との交流や地域への貢献などというかたちで学外へと活動の幅を広げているサークルも多くあります。あなたもスポーツや文化活動など様々な分野で自己を磨き、生涯にわたる友情と思い出をたくさん作ってください。



記事提供:朝日新聞社・読賣新聞社・高知新聞社

文化系サークル

■ 朝倉キャンパス

- 交響楽団
- 吹奏楽団
- 合唱団
- マンドリンクラブ
- 邦楽部
- フォークソング部
- フォークフォーク
- 軽音楽部 BLUE SKY
- SEA BREEZE
- 美術部
- 裏千家茶道部
- 表千家不白流茶道部
- 華道部
- 囲碁部
- 映画文化研究会
- 演劇研究会
- 星の会
- 野生生物研究会
- 学術探検部
- ユースホステル部
- マイコン部
- E.S.S
- 写真部
- 児童文化研究会
- 子ども倶楽部
- 児童文化研究会
- 総合映像研究会
- 放送研究会
- 園芸部
- 奇術部
- ニューシネマ☆パラダイス
- 書道部

■ 岡豊キャンパス

- 医学部ESS
- 医学部囲碁・将棋部
- 医学部映画研究会
- 医学部合唱団
- ACLS南国
- 医学部管弦楽団
- 医学部軽音楽部
- 医学部JAZZ研究会
- 小原流華道部
- 医学部裏千家茶道部
- 医学部写真部
- 医学部天文部
- 医学部美術部
- アウトドア・HAM・サークル
- パソコンサークル DOS/V
- 医学部アジア僻地医療を支援する会
- 医学部漢方研究会(うどん部)
- フィールド医学研究会
- 医学部ボランティア部
- Peer部
- 高知大学 Mental Health Care Club
- 医学部ダンス部

体育系サークル

■ 朝倉キャンパス

- 陸上競技部
- 水泳部
- ヨット部
- サイクリング部
- Free Climbing Club
- サッカー部
- ワンダーフォーゲル部
- モダンダンス部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- ラグビー部
- 硬式野球部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- 体操競技部
- ソフトボール部
- アメリカンフットボール部
- ライフル射撃部
- 柔道部
- 剣道部
- 合気道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 弓道部
- 洋弓部
- 卓球部
- 軟式野球部
- 芦原空手道部

■ 岡豊キャンパス

- 医学部合気道部
- 医学部空手道部
- 医学部弓道部
- 医学部剣道部
- 医学部柔道部
- 医学部硬式庭球部
- 医学部ゴルフ部
- 医学部サッカー部
- 医学部準硬式野球部
- 医学部水上運動部
- 医学部卓球部
- 医学部バスケットボール部
- 医学部バドミントン部
- 医学部バレーボール部
- 医学部ヨット部
- 医学部ラグビー部
- 医学部ワンダーフォーゲル部
- 医学部蹴球会
- 水泳部
- 陸上競技部



学内外へと広がる活動の場

部活動、サークル活動は大学生活の華！
その一部をご紹介します。

サッカーを通じての豊かな人間教育

サッカー部

Data

大学選手権や天皇杯で常に優秀な成績を収める強豪チーム。
部員数は毎年約80名前後。
練習日は月曜以外の毎日、学業との両立も重要視している。
プロとしてJリーグなどでのプレーを目指す学生も多い。



野地 照樹准教授
サッカー部 監督
教育学部 保健体育 運動学
JFA(日本サッカー協会)公認A級コーチ
全日本大学選抜、ユニバーシアードのコーチ、
監督を歴任

全国大会の常連、強豪チームと言われますが、転機となったのは91、92年あたりです。ヤンマー(セレッソの前身)相手に勝ったり引き分けたり、大学選手権も3位まで勝ち上がりました。以来一定のレベルをキープしています。指導にあたっては、JOCや国の在外派遣などで世界を回った経験から、効果的・効率的な練習と選手一人ひとりの自立の精神を大切にしています。学生とはお互いコミュニケーションをとりながら相手の意見や人間性を尊重していますね。もちろん学生ですから学業との両立がまず第一です。そして大学の一員として地域貢献も大切。毎週2回の少年少女サッカー教室や、夏には強化練習とサッカー教室を兼ねた宿毛キャンプなども行っています。サッカー文化を育み、サッカーを通じての豊かな人間形成を目指しています。



日々の練習には各自が高い意識を持って取り組んでいる。また週2回は、地域の小学生を対象とするサッカー教室を開催。ウォーミングアップの「おにごっこ」では、つかまると自己紹介をするという仕掛けで、子どもたちとの触れ合いも大切にしている。



吹奏楽団

音楽に垣根はない！女子大と一緒に活動



個性的なメンバーが多く、楽器の音色に負けないくらい笑い声も絶えない雰囲気だが、定期演奏会には地元の固定ファンもつくほどの実力派。年末のイルミネーション点灯式では、赤レンガ広場でミニ・コンサートも行っている。

Data

定期演奏会やコンテスト出場といった演奏活動のかたわら、地元小学生への指導や人数の足りない高校ブラスバンド部への助っ人など、垣根のない音楽活動を展開。吹奏楽部のない高知女子大学の学生も受け入れ、一緒に吹奏楽を楽しんでいる。

国立で神宮を狙える、数少ない大学チーム

野球部

Data

2006年秋には四国地区大学野球リーグ優勝。

私学優勢の大学野球界で、国立大学の実力チームとして異色の輝きを放つ。

率いるのは就任30年を迎えた小松清祥監督で、練習は週6日行っている。



神宮には過去3回出場しているがまだ勝ち星がないため、チームの合い言葉は“神宮での1勝”。目標に向かう姿勢や、人に対する礼儀・態度など、野球以外のことも大切にするのがモットー。



2006年には、ベースボールマガジンで大学野球の強豪チームの一つとして、特集も組まれた。国立大学の野球部としては異例のこと。

子どもたちの笑顔が一番の喜び

子ども倶楽部

Data

ふだんの活動は毎週土曜日、地域で3つの子ども会を運営する。

イベントは年2回。春は教育学部主催の「子どもまつり」で巨大迷路を、秋は子ども倶楽部主催で午前中は工作とゲーム、午後は運動会というメニューの「子ども広場」を開催している。



部室の中は、活動に必要な大工道具や調理器具、作ったおもちゃやイベント飾りなどで埋まっている。メンバーは教育学部を中心に人文、理、農学部など様々だが、子どもが好きで日常的に子どもたちと関わり合うことを大切にするという姿勢を共有している。

ヨット部

海を介して広がる、人と地域との交流

Data

全日本学生ヨット選手権大会には個人、団体共にほぼ毎年出場。

土日祝日は香南市ヤシィパークにあるハーバーで練習を行っている。

経験者はもちろん、初心者も参加OK。

NPO法人YASU海の駅クラブに加盟し、海と浜辺の環境保全や情報発信にも力を入れている。



ヨットの醍醐味は何と言っても走っている時の爽快感。特に雄大な太平洋は、セーラーたち憧れの海なのだそう。シーカヤックやサーフィンなど他のマリンスポーツを平行して楽しむ部員も多く、地域住民と一緒に海の清掃や小学生のヨット教室を行うなど活動は幅広い。



同好会 ポストン

誰でも一緒に楽しめる、がモットー



Data

「初心者でも女性でも、誰でもみんな一緒になって楽しめるバスケットボールを」という目的でスタートした同好会。

現在部員は120名を超え、学生だけでなく大学職員も参加している。



「なぜポストン?」「なぜかわからないけど、最初からポストン」と部員たち自身にもナゾの名称が特徴。平行して社会人チームにも入っているバスケット好きもいれば、友達を増やしたいと入部した人も。ポージング大会やキャンプなど“楽しむ”ことを目的とした行事も多い。

学生の暮らし Student's living

高知県は気候が温暖で、住もう人々も気さくで
 大らかな気性の土地柄と言われます。
 どのキャンパスに通う学生も、それぞれの地域で見守ってくれる近隣の人々や
 四季折々の自然・風物に囲まれ、
 のびのびとした学生生活を送ることができるでしょう。
 学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など
 個々の状況に応じて様々ですが、
 奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので
 気軽に学務部学務課までお問い合わせください。



Voice

一番よかったのは高知でしか できない暮らし方ができたこと

星山 卓哉 理学部4年生

高知は部屋代が安く、食材も新鮮なものが手に入ります。一番よかったのは自然に囲まれた高知でしかできない暮らし方ができたこと。大好きな海の生き物と4年間一緒に暮らしました。クマノミやウニ、タツノオシゴなど、全部高知の海で自分で採ってきた魚たちです。自然を楽しみ、学び、満喫できた毎日でした。



Scholarship

奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金が主なものですが、その他に地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。奨学金の貸与を受けることができる者は、学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者です。

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金及び有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額(平成19年度入学生)は、第一種の場合、自宅通学者は45,000円、自宅外通学者は51,000円です。第二種の場合は、30,000円・50,000円・80,000円・100,000円の中から自由

に貸与月額を選択することができます。

なお、本学独自の奨学金としては、医学部の「岡豊奨学会奨学金」及び農学部の「池知奨学金」があります。

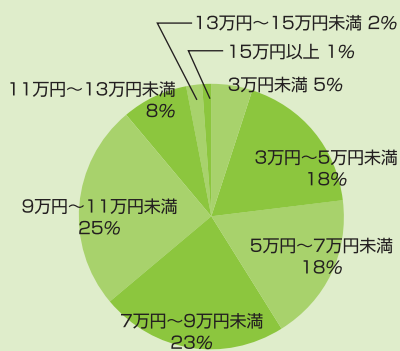
生活費

学生生活を送るのに必要な費用は、個々様々ですが、10万円前後の者が25%を占めています。全体的な平均金額は8万程度であると思われ、家庭からの仕送りは10万円前後の者が27%を占める一方で、3万円未満の者も22%います。

また、約3割が何らかの奨学金により、4万円前後を受給しています。

アルバイトについては、約72%が月額3万円未満の収入となっています。

学生の月平均の生活費 ※医学部学生は除く



生活費の内訳例

1 学生寮に入寮している理学部男子学生の場合

収入	
仕送り	40,000
バイト代	20,000
計	60,000

支出	
寮費(寄宿費・食費・光熱費等)	20,000
教材費(学費を除く)	10,000
部活動費(フンダーフォーゲル部)	10,000
交通・交際費	10,000
計	50,000

繰り越し
(就職活動※や部活の長期合宿などのために貯金)

学生によっては就職活動に多くの費用がかかるケースもあります。(出身地や都市部への企業訪問に必要な交通費など)

2 アパートで一人暮らしの農学部女子学生の場合

収入	
仕送り	50,000
奨学金	50,000
バイト代	50,000
計	150,000

支出	
住居費	50,000
食費・光熱費	25,000
教材費(学費を除く)	5,000
交通・交際費(携帯電話料金含む)	20,000
雑費(洋服・化粧品等)	25,000
計	125,000

繰り越し
(進学などのために貯金)

アルバイト

学務部学務課生活支援グループ(岡豊キャンパスは学生・研究支援課、物部キャンパスは物部地区事務課学務グループ)でアルバイト求人情報の紹介を行っており、これらの情報は各キャンパス及び学生用グループウェアで閲覧できます。なお、家庭教師募集先の紹介については事前に登録の必要があります。一般アルバイトについては、長期休暇を除き1週間以上の昼間の業務や深夜に及ぶもの、また車両運転など危険を伴うものや風俗営業など、学生としてふさわしくないものは紹介していません。平成17年度中に取り扱った主な業務は、軽作業・交通量等調査・イベント手伝いなどで述べ597件を、また家庭教師については26件を紹介しました(医学部を除く)。

なお、医学部では教育的配慮のもとに家庭教師に限って紹介を行っており、平成17年度は25件を紹介しました。

住居

下宿、アパートやマンションの紹介は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部地区事務課の双方で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

各キャンパス周辺の賃貸価格は、平成19年4月現在で以下の通りです。なお、最近では食事付きの下宿はあまり希望者がありませんが、その場合の料金は約50,000円となっています。

各キャンパス周辺賃貸価格表

貸間	10,000～25,000円
6畳・8畳 1K・ワンルーム	20,000～50,000円

入学金・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により入学金の納付が困難である学生は、申請により入学金の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半

額の納付が免除される場合があります。

学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

就職活動支援

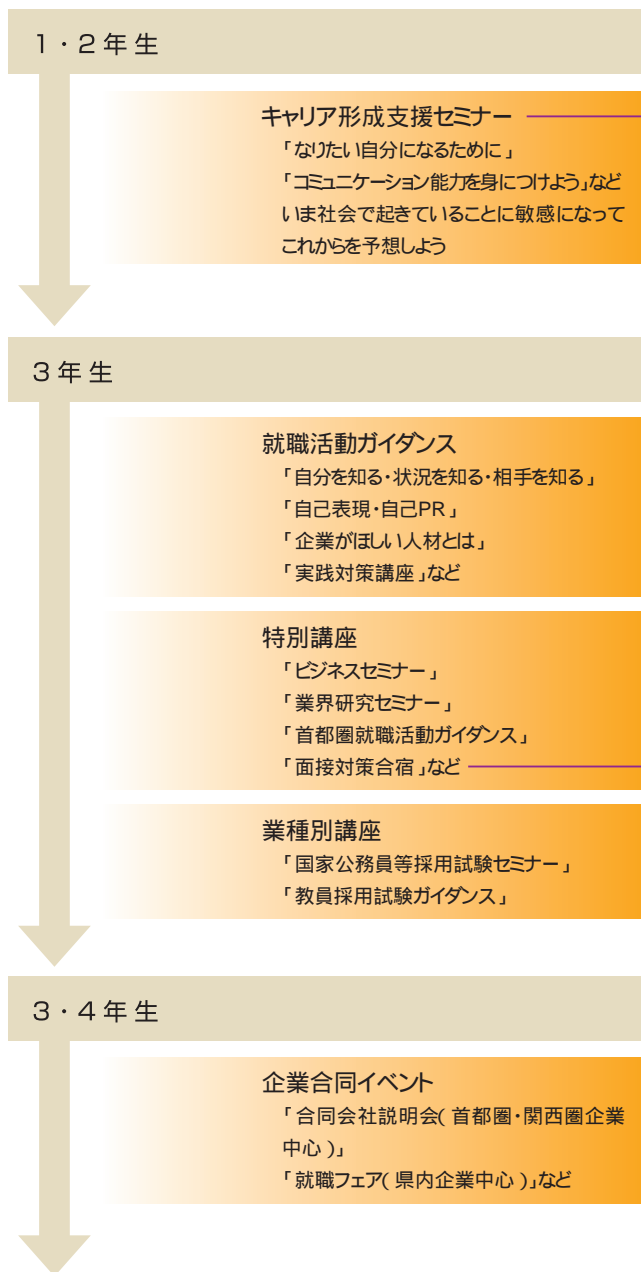
Support of job hunting

大学で得た様々な知識や経験を活かし、自分の個性を十分に発揮しながら職業人として社会の中で人々に貢献していく。これが就職することの意義です。就職室では大学4年間を通して様々な角度からその支援を行っています。

高知大学就職室のキャリアサポート Career Support

学生一人ひとりが高いモチベーションで社会人・職業人として社会に貢献できるよう、4年間を通して段階的にサポートを行っています。自己分析や職業理解、業界研究、実践対策など、年次に応じた内容の講座やセミナーを開催。県外出身者が多い現状も踏まえ、首都圏からの講師招聘や全国規模の企業合同説明会の実施など体制の充実をはかっています。

キャリアサポートの主な流れ



キャリア形成支援セミナー



面接対策合宿



「こういった講座はマニュアルを学ぶためのものではありません。良き社会人と出会い、自分の成長に対して貪欲になるためのひとつの機会。」とは就職室のスタッフの言葉。こういうチャンスをうまく活用しよう。

時間を余すことなく使った4年間でした

人文学部社会経済学科4年生
 ヤフー株式会社内定
 角田 美紗季
 高知県出身

大学4年間を振り返ってみると、いったいどこからが就職活動なのか、線引きは難しい気がします。私の場合、研究やインターンシップというのは、興味のあることに手を出しながら自分が本当にやりたいことを探した“やりたいこと探し”。そして就職活動は、それを社会で実現させるための“環境探し”だったようにも思います。

インターンシップには人一倍チャレンジしました。最初のきっかけは1年生の冬、授業で「ダバダ火振り」といって栗焼酎の蔵元へ取材に行ったこと。その時、地域にいくら素晴らしい製品があっても商材の力だけでは売れないことを知り、とても悔しく思いました。でも同時にインターネットの世界なら顧客は全国にいて、商材と売り方さえよければものは売れるということに感動を覚えたのです。

そこからネットショッピングに興味を持ち、2年生の夏に楽天株式会社へ2ヶ月間、さらに2年生の2月から3年生の8月までデジサーチ・アンド・アドバタイジングという会社へ半年間、インターンシップに行きました。特に2回目のインターンシップでは、web上

の店舗の一つを半年間実際に運営させてもらい、とても勉強になりました。

大学の外に出ていた時間は長かったです。先生やコーディネーターの方がメールで細やかにサポートしてくれたり、大学に帰ってからの振り返りや、次どうするかというフィードバックの部分も一緒になって考えてくれました。そうした中で自分が本当にやりたいことがどんどん明確になっていき、ネットショッピングだけでなく、インターネットのいろいろな可能性を利用して地域につながる仕事がしたいと思うようになりました。

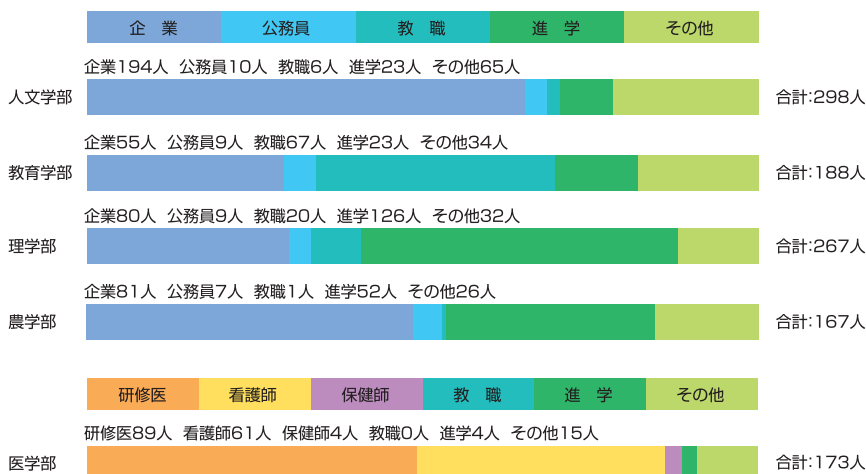
通信系の企業の中でヤフー株式会社を選んだ一番の理由は、ポータルサイトを持っているということ。その無限の可能性に惹かれたからです(第一希望でした!)。将来的にはポータルサイトで地域コミュニティのコンテンツを立ち上げたり、幅広いチャレンジをしてみたいと思っています。自分を活かし、自分のしたい貢献ができる環境の中で、様々なことを実現していきたいですね。



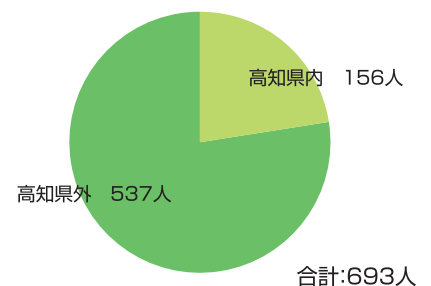
■ 学生の自発的な取り組み～就活会～

4年生の就職内定者が自らの経験を活かして自発的に行っている就職支援活動。様々な勉強会をはじめ、先輩達のリアルな経験談も聞くことができる。

■ グラフ1. 学部別就職状況 (2006年3月卒業生)



■ グラフ2. 就職先の県内外比率 (2006年3月卒業生)



先輩からのメッセージ

あなたは大学卒業後の自分を想像したことがありますか？

職業や働き方へのイメージを持つことは、大学生活をより有意義なものにする大切な指針となります。

高知大学を卒業し現在社会で活躍している先輩方から、ご自身の経験を振り返って話していただきました。

仕事選びは、自分の生き方と関わってくる大事な選択

金子 知加
馬路村農協 総務金融課
人文学部社会経済学科を
2004年度卒業
高知県出身

私は大学時代、バナナをテーマに、その流通の裏に隠された貧困問題や環境に及ぼす影響などについての研究をしていました。経済と地域との関わりに興味を持っていました。

でも、馬路村農協で働きたいと思った理由は「村おこしするぞ」というような気負ったものではなく、ここの人たちとの温かいふれあいがあったから。就職活動の時から歓迎の宴会を開いてもらったり、気軽に声をかけてもらって、自分がこの場所で親しんでいけると肌で感じたからです。馬路村は四国山地の奥にある人口約1200人の過疎の村です。コンビニも国道もない田舎ですが、ユズの加工産業を柱に、村の自然や人、つまり村そのものを一つのブランドとして情報発信していて、今は年間30億円超の売上げを上げています。

私も就職1年目は、営農販売課といって農家からユズの受け入れをして製造・販売する部署に配属されました。そこで、商品の電話受付から注文入力、発送、DMの段取りまで一連の流れを学ぶ中で、村の人たちの声、全国の馬路村ファンのお客様の声を直に聞き、大切なことを学びました。また商品企画やイベントとなると、職員が総出で取り組む姿に刺激を受けました。

2年目の今年は、総務金融課で貯金の仕事をしています。村の人の顔もやっと覚え、その方たちの大切なお金をお預かりしているんだという責任を実感しています。窓口でのちょっとした会話や、集金に伺った時「これいっばいできたき、持っていきや」「お茶飲んでいきや」などと声を

かけていただくのもすごく嬉しい！ 正確に確実に仕事ができる、笑顔を忘れず人と接することができた時が一番充実しているなぁと思います。

仕事選びは、自分の生き方に関わってくる大事な選択です。私は、馬路村の自然と人、その自立した姿勢に共感を覚えてこの職場を選びました。私も村のように自然体で、しっかりと自立していきたいと思います。これからもその初心を忘れず仕事をしていきたいし、やりたいことには貪欲にチャレンジしていきたいです。



村の青年団にも入って活動しているという金子さん。
(左から三番目が金子さん)

■ 主な就職先企業一覧 (医学部を除く) ※青字は高知県内企業

食品関連業界	製造業界	流通、販売、外食産業	金融、証券業	航空・運輸業界	旅行・ホテル業界
グリコ栄養食品	エーザイ	日本ビクター	愛媛銀行	JALインフォテック	JTB中国・四国
山崎製パン	小野薬品工業	井関農機	伊予銀行	JALスカイ九州	近畿日本ツーリスト
日清食品	第一製薬	ニッポン高度紙工業	三重銀行	エアーニッポン	
明治製菓	富士薬品	技研製作所	四国銀行	JR四国	建築・住宅不動産関連業界
えひめ飲料	住友製薬	ローソン	高知銀行	JR西日本	
旭食品	パラマウントベッド	日本マクドナルド	損害保険ジャパン	土佐電気鉄道	積水ハウス
	マツダ		大和証券		穴吹ミサワホーム

学業以外の経験も大切なスキルアップ。 積極的にトライを

池田 恵彦
NTTラーニングシステムズ
総合研修事業部
理学部数学科を1993年度卒業
愛媛県出身

私は平成6年にNTTに入社し、SI(システムインテグレーター)、営業、インストラクタなどを経て、現在はNTTラーニングシステムズというグループ会社に出向しています。この会社は、NTTや一般企業に対し、研修、e-ラーニング、通信教育などの提供から人材配置、人材育成のコンサルティングまで幅広く「企業の成長」をお手伝いしています。

ここでは、社外の方(例えば経営コンサルタントや心理学の先生など)からいろいろなものを得ることができ、自分も成長できるので非常に楽しいし、充実しています。大学時代、私はESSという英会話のサークルに入っていました。入部した理由は勉強が大好きでということではなく、その雰囲気や先輩の人柄に魅せられてといった感じです。とにかくサークルのイベントは、一所懸命取り組みました。そこでの経験が、就職して本当に生かされていると思います。例えばディベートのスキルは集団面接でも役に立ちました。また、サークルやアルバイトを通じて磨かれたコミュニケーションスキル、これも非常に役に立っています。ですから、大学時代には学業も大事ですが、サークル、アルバイト、ボランティアなどといった活動にも積極的にトライして欲しいと思います。

卒業して13年になりますが、これまで何度も大学にはお邪魔しました。というのもNTTの採用活動に携わっていたからです。私が選考するのではなく、会社と学生の接点として、会社の紹介をしたり学生の疑問にお答えしたりといった形での関わりです。

そういったことで何年も会社側、外部の立場から高知大学を見ることができたが、学生にとって非常にいい学校だとあらためて思います。就職活動も精一杯の支援をしてもらえるし、学生自身も自立しています。そして、私も含めみんなこの学校が好きなんだなあと感じます。先輩から教わり自分のモチーにしている、「先輩からもらった有形無形の財産は、後輩に返す」。これを今後も実践し、どんな形であれ一人でも多くの高知大学の後輩たちの役に立てればと思っています。



池田さんは、高知大学主催のキャリア形成支援セミナーにもアドバイザーとして参加している。

情報・通信関連業界

NHK
長崎国際テレビ
NTT西日本
三菱電機エンジニアリング
高知さんさんテレビ
高知新聞社

サービス業、その他

四国電力
中四国リクルート企画
コムスン
全国農業協同組合連合会
高知市農業協同組合
馬路村農業協同組合

教員

公・私立小中高等学校教員(東京、千葉など複数県)
高知県私立中・高等学校教員

公務員

大阪府、京都府、高知など警察自衛隊
徳島、愛媛など県庁職員
市・町村役場職員(複数県)
日本郵政公社
農林水産省
厚生労働省
国税専門官
神戸市立青少年科学館
東京大学など国立大学法人
東京消防庁
高知県森林整備公社

受験生の皆さんへ



高知大学 学長 相良 祐輔

受験生の皆さんは、いま、生徒から学生になろうと
勉学に励んでおられることでしょう。

大学生になろうと強く希望して、努力を重ねられて
いる皆さんに、ぜひ理解しておいていただきたい
ことがあります。

大学に進む、学生になる、ということの基本は、あ
なた方自身の意志によって、教えてもらう生徒の
時期に訣別し、受験し、何を学ぶかをあなた方自身
が求め、決定する生活を始めるということなのです。
あなた方が真剣に求め続ける限り、高知大学は誠
実にあなた方の問いかけに答え続けます。

高知大学は、地域の大学として、21世紀の日本の
大学改革という要請を絶好のChanceと捉え、大
学変革Changeに勇気を持ってChallengeし、
21世紀にふさわしい新しい時代の智を創造
Createしようとしています。

この四つのCを目標として、グレード・アップした大
学に進化しつつあります。

受験生の皆さん!

この進化し続ける高知大学を目指してください!

この新しく生まれ変わった高知大学への入学の
Chanceを確実に捉え、生徒から学生への
Changeを果たして、21世紀の社会に十分
Challengeできる能力を、みんなで一緒に開発
Createしようではありませんか。

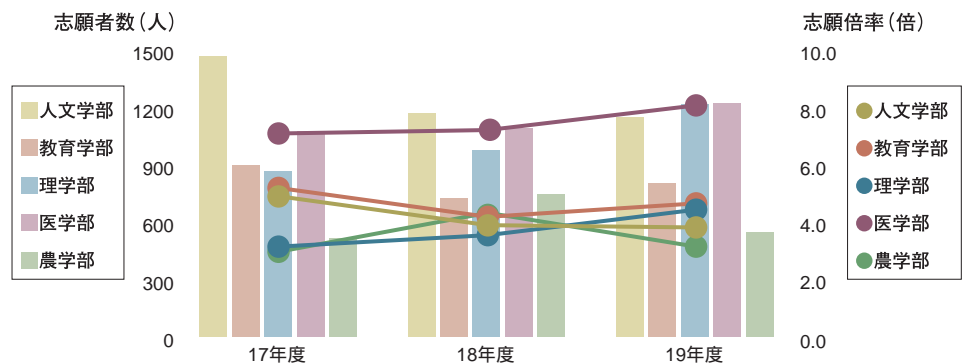
高知大学は、学生とともに進化する大学なのです。
あなた方の人生において、今、このときに求めてお
かねば、二度と手にすることのできないものは何か、
それは、高知大学のキャンパスのどこかに必ずあ
ります。私たち教職員は、そのようなあなた方と、
共に進もうと考え、待っている、それが高知大学で
あります。

データ

Data

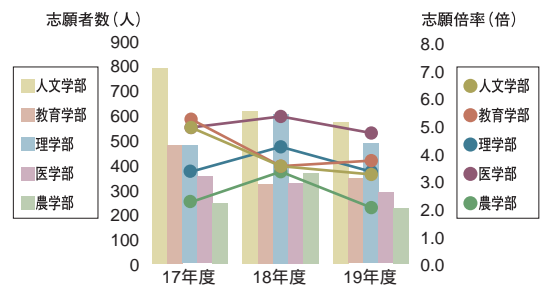
■過去3年間の志願状況 全選抜方法（平成17年度～平成19年度）

志願者数(人)				志願倍率(倍)			
区分	17年度	18年度	19年度	区分	17年度	18年度	19年度
人文学部	1,470	1,171	1,149	人文学部	5.0	4.0	3.9
教育学部	896	725	804	教育学部	5.3	4.3	4.7
理学部	869	978	1,218	理学部	3.2	3.6	4.5
医学部	1,076	1,093	1,223	医学部	7.2	7.3	8.2
農学部	517	748	548	農学部	3.0	4.4	3.2
合計	4,828	4,715	4,942	合計	4.6	4.5	4.7



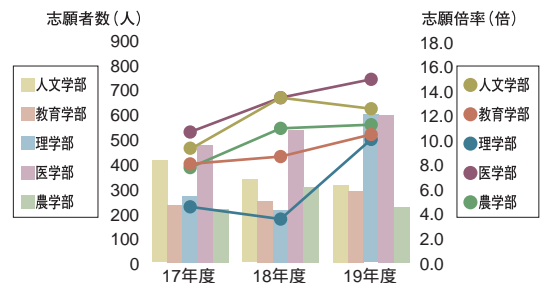
<前期日程>

志願者数(人)				志願倍率(倍)			
区分	17年度	18年度	19年度	区分	17年度	18年度	19年度
人文学部	786	613	569	人文学部	5.0	3.6	3.3
教育学部	477	320	341	教育学部	5.3	3.6	3.8
理学部	475	602	483	理学部	3.4	4.3	3.4
医学部	350	323	285	医学部	5.0	5.4	4.8
農学部	242	365	223	農学部	2.3	3.4	2.1
合計	2,330	2,223	1,901	合計	4.2	3.9	3.3



<後期日程>

志願者数(人)				志願倍率(倍)			
区分	17年度	18年度	19年度	区分	17年度	18年度	19年度
人文学部	413	336	312	人文学部	9.2	13.4	12.5
教育学部	231	249	290	教育学部	8.0	8.6	10.4
理学部	270	212	599	理学部	4.5	3.5	10.0
医学部	475	537	596	医学部	10.6	13.4	14.9
農学部	216	305	223	農学部	7.7	10.9	11.2
合計	1,605	1,639	2,020	合計	7.8	9.0	11.7



平成18年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試												推薦入試													
			前期日程					後期日程					A O 入試		推薦入試 I			推薦入試 II										
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)							
人文学部	人間文化学科	94	58	163	159	74	2.1	5	111	36	5	7.2				30	74	30										
	国際社会 コミュニケーション学科	83	36	196	181	43	4.2	10	113	63	15	4.2	A選抜	20	61	25												
													B選抜	15	24	16												
													小計	35	85	41												
社会経済学科	118	77	254	237	108	2.2	10	112	112	10	11.2	一般	15	26	17													
小計	295	171	613	577	225	2.6	25	336	211	30	7.0	専門	15	37	18													
													小計	30	63	35												
													95	222	106													
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	169	158	68	2.3	15	87	87	19	4.6						30	76	30								
	生涯教育課程	30	15	41	40	17	2.4	6	66	33	8	4.1		9	24	9												
													芸術文化コース	20	10	65	62	11	5.6	4	70	42	5	8.4		6	49	7
													スポーツ科学コース	20	10	45	43	19	2.3	4	26	26	7	3.7		6	7	7
小計	170	90	320	303	115	2.6	29	249	188	39	4.8		21	80	23		30	76	30									
理学部	数理情報科学科	82	44	192	187	58	3.2	19	52	52	21	2.5				16	50	20										
	物質科学科	92	物理	16	34	29	22	1.3	物理	6	20	20	10	2.0														
			化学	22	101	96	36	2.7	化学	10	26	26	14	1.9				18	45	25								
			生物	9	49	47	16	2.9	生物	4	24	24	6	4.0														
	小計	47	184	172	74	2.3	小計	20	70	70	30	2.3																
	自然環境科学科	96	物理	10	42	41	16	2.6	物理	4	15	15	4	3.8														
化学			6	43	42	12	3.5	化学	7	37	37	10	3.7															
生物又は英語			18	111	107	24	4.5	化学又は地学	10	38	38	10	3.8				18	68	28									
地学			15	30	29	17	1.7																					
小計	49	226	219	69	3.2	小計	21	90	90	24	3.8				52	163	73											
医学部	医学科	90	30	264	242	30	8.1	30	470	358	31	11.5	30	176	30													
	看護学科	60	30	59	57	33	1.7	10	67	34	12	2.8				20	57	20										
	小計	150	60	323	299	63	4.7	40	537	392	43	9.1	30	176	30	20	57	20										
農学部	暖地農学科	40	25	81	81	33	2.5	5	55	24	18	1.3						一般	6	6	5							
	森林科学科	30	17	42	36	21	1.7	5	67	27	5	5.4	2	8	3	専門	4	9	5									
																小計	10	15	10									
																一般	5	13	6									
	栽培漁業学科	30	20	42	42	28	1.5	6	34	10	10	1.0	6	34	10	1.0	専門	1	2	1								
																	小計	6	15	7								
一般																	2	5	4									
生産環境工学科	30	19	83	76	28	2.7	7	59	59	20	3.0	7	59	20	3.0	専門	2	1	1									
																小計	4	6	5									
																一般	2	4	3									
生物資源科学科	40	25	117	104	28	3.7	5	90	46	9	5.1						10	29	10									
小計	170	106	365	339	138	2.5	28	305	166	62	2.7				2	8	3	34	70	36								
合計	1,055	567	2,223	2,096	742	2.8	182	1,639	1,169	249	4.7	30	176	30	190	530	225	64	146	66								

■は募集なし

特別選抜:帰国子女(志願者=1、合格者=1)

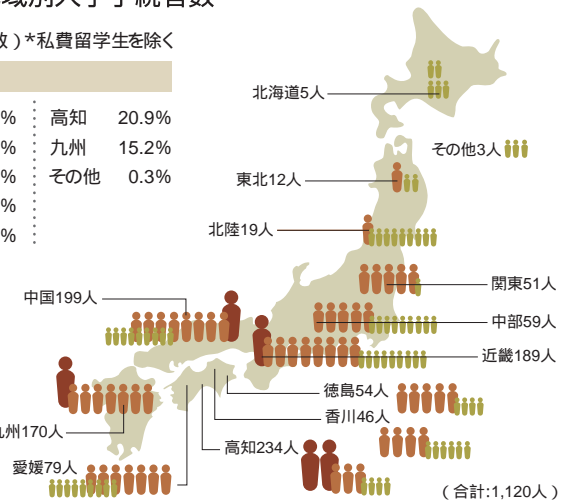
私費外国人留学生の選抜は、志願者=30名、合格者=17名でした
実質倍率=受験者数 / 合格者数

平成18年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数)*私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道	0.4%	近畿	16.9%	高知	20.9%
東北	1.1%	中国	17.8%	九州	15.2%
関東	4.6%	徳島	4.8%	その他	0.3%
北陸	1.7%	香川	4.1%		
中部	5.3%	愛媛	7.1%		



平成19年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										推薦入試																		
			前期日程					後期日程					AO入試			推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ												
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)										
人文学部	人間文化学科	94	58	172	163	72	2.3	5	80	80	31	2.6				30	103	35													
	国際社会コミュニケーション学科	83	36	86	82	51	1.6	10	112	49	10	4.9	A選抜	20	66	24															
													B選抜	15	25	16															
													小計	35	91	40															
	社会経済学科	118	77	311	291	99	2.9	10	120	120	10	12.0	一般	15	41	17															
小計	295	171	569	536	222	2.4	25	312	249	51	4.9	専門	15	33	18																
													小計	30	74	35															
														95	268	110															
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	223	199	71	2.8	15	134	134	18	7.4						30	79	30											
	生涯教育課程																														
	芸術文化コース	30	15	51	49	19	2.6	6	68	35	6	5.8				9	29	10													
	スポーツ科学コース	20	10	39	38	12	3.2	3	25	11	3	3.7				7	47	9													
	生活環境コース	20	10	28	26	19	1.4	4	63	63	4	15.8				6	18	8													
小計	170	90	341	312	121	2.6	28	290	243	31	7.8				22	94	27	30	79	30											
理学部	数理情報科学科	82	44	123	113	60	1.9	19	199	199	40	5.0				16	48	21													
	物質科学科	92	物理	18	43	42	26	1.6	物理	6	161	161	26	6.2																	
			化学	23	65	59	35	1.7	化学	10	63	63	28	2.3				18	33	22											
			生物	10	54	52	18	2.9	生物	4	25	25	7	3.6																	
			小計	51	162	153	79	1.9	小計	20	249	249	61	4.1																	
自然環境科学科	96	49	198	198	61	3.2	21	151	151	80	1.9				23	54	25														
小計	270	144	483	464	200	2.3	60	599	599	181	3.3				57	135	68														
医学部	医学科	90	30	218	200	31	6.5	30	494	255	30	8.5	30	275	30																
	看護学科	60	30	67	65	35	1.9	10	102	48	12	4.0				20	67	20													
	小計	150	60	285	265	66	4.0	40	596	303	42	7.2	30	275	30	20	67	20													
農学部	農学科	暖地農学コース	170	104	223	201	122	1.6	20	223	85	20	4.3						一般	4	4	4									
	海洋生物生産学コース																														
	食料科学コース																														
	生命化学コース																														
	自然環境学コース																														
	流域環境工学コース																														
	森林科学コース																														
	国際支援学コース																														
	小計	170												104	223	201	122	1.6	20	223	85	20	4.3				2	6	3	44	96
合計	1,055	569	1,901	1,778	731	2.4	173	2,020	1,479	325	4.6	30	275	30	196	570	228	74	175	78											

■は募集なし

特別選抜:社会人(志願者=1、合格者=0)

私費外国人留学生の選抜は、志願者=41名、合格者=17名でした。

実質倍率=受験者数 / 合格者数

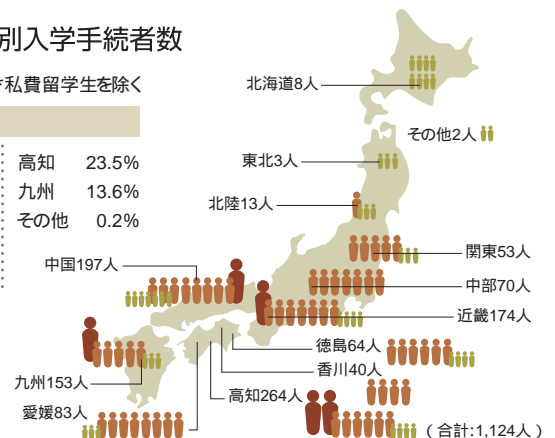
理学部は旧学科で募集しました。

平成19年度の地域別入学手続者数

地域・入学手続者数(志願者数)*私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.7%	近畿 15.5%	高知 23.5%
東北 0.3%	中国 17.5%	九州 13.6%
関東 4.7%	徳島 5.7%	その他 0.2%
北陸 1.2%	香川 3.6%	
中部 6.2%	愛媛 7.4%	



Let's open the door!

～入試課からのお知らせ～

Open Campus

オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参画して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。

夏季オープンキャンパス(第1回)

平成19年

■ 7月30日(月)

岡豊キャンパス:医学部看護学科

■ 8月5日(日)

岡豊キャンパス:医学部医学科

■ 8月7日(火)

朝倉キャンパス:人文学部

教育学部

理学部

物部キャンパス:農学部

秋季オープンキャンパス(第2回)

平成19年

■ 10月6日(土)

朝倉キャンパス:人文学部

教育学部

理学部

物部キャンパス:農学部



特典

参加者には

- 大学オリジナルグッズをプレゼント!
- 構内食堂の食事券(100円)をプレゼント!
(朝倉・物部キャンパス)
※昼食は構内食堂をご利用いただけます
- 大学案内、学部パンフレットなど各種資料をお渡しします

受験生の皆さんを応援します!

入学試験、合格発表。ここぞという時には現役高知大生が皆さんをサポート!

受験道中

大切な入学試験、受験生の不安を少しでも和らげ、全力で試験に挑んでもらえるように――。

高知で受験するすべての受験生を対象に、国公立大学の二次試験前日、前々日に、現役大学生がボランティアによるサポート活動を行っています。

受験経験者である現役生だからこそできる細やかな気遣いやサポートで、慣れない土地でも安心して受験できたと毎年大好評。また、受験生に役立つ情報満載の案内冊子も配布しています。



緊張の面持ちで高知を訪れた受験生に、温かい一声を掛けたり、交通機関を案内したり…。



サポート活動は新聞でも紹介されました。
<記事提供:読賣新聞社>

オープンキャンパスは知りたい情報を知るチャンス!

オープンキャンパスは各学部ごとに実施しています。どんな専門分野があるのか、どんな授業が受けられるのか、どんな形で社会に貢献できるのか・・・? 疑問や質問があれば、この機会にどんどんぶつけてみてください。学科長や教員が丁寧に答えいたします。先輩達の体験談も聞けるので大学での勉強の仕方や学生生活について具体的にイメージができるはず。体験授業も実施していますので、気軽に参加してください。



入試情報の提供や入試相談なども行っています

入試情報・学部相談コーナーでは、学部ごとに教員による入試情報の提供や入試相談を実施します。次年度の入試実施科目など有益な情報や、AO入試・推薦入試に関する説明、その他入試に関する様々な相談に応じます。自由に入れますのでぜひお立ち寄りください。

卒業生の進学・就職状況や留学に関する情報も

大学で身につけた能力や個性を、次のステップでどれだけ発揮できるのだろうか——。そのような視点で大学を選択したい方には、卒業生の進学や就職に関する情報も就職情報室にて公開しています。また国際交流については提携校など留学に関する情報を公開しています。

Information

[対象] 高校生、高等学校教諭、保護者

[申込方法] 高等学校を通じてお申し込みください。

[お問い合わせ先] 入試係

※その他の詳細等については大学HPでもご覧いただけます。

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

☎ 088-844-8766

FAX 088-844-8147



合格発表

緊張と喜びの合格発表当日には、合格した受験生たちを讃え、歓迎しようと、アメリカンフットボール部の猛者たちが掲示板前に大集合! 合格者を次々に胴上げて回り、みんなで一緒に喜びを分かち合います。



合格者を胴上げし、歓迎する部員たち。

●高知龍馬空港

物部キャンパス(農学部)への道案内や、高知市内までのバスの案内など

●JR高知駅、はりまや橋周辺

宿泊先への案内や試験会場となる各キャンパスへの公共交通機関の案内など

●朝倉キャンパス内

受験教室案内や、利用できる食堂などの各施設案内など

地図・アクセス

Map



各施設の所在地及び交通アクセス

- 1 朝倉キャンパス** (文学部・教育学部・理学部) / 高知市曙町2-5-1
 事務局、学生会館、各学部棟 (人文/教育/理)、附属特別支援学校、附属教育実践総合センター、附属高知地震観測所、附属水熱化学実験所、国際・地域連携センター、メディアの森 [総合情報センター (図書館)]、保健管理センター

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分
 空港バスで約50分、「朝倉 (高知大学前)」下車
- 高知駅から 車で約20分
 バスで約25分
 路面電車で約30分、「朝倉 (高知大学前)」下車
 JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

- 2 岡豊キャンパス** (医学部) / 南国市岡豊町小蓮
 医学部、図書館 (医学部分館)、附属病院、動物実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、附属医学情報センター、国際交流会館

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
 バスで約30分
 JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約20分

- 3 物部キャンパス** (農学部) / 南国市物部乙200
 農学部、メディアの森農学部分館、附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター、大学院黒潮圏海洋科学研究科・日章寮・国際交流会館、留学生寄宿舎、遺伝子実験施設、海洋コア総合研究センター

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 空港バスで3分、徒歩約15分
- 高知駅から 車で約30分
 空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車
 JR土讃線、ごめん・なはり線約25分、「後免町駅」下車、車またはバスで約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分

- 4 男子学生寮 (南湊寮)** / 高知市朝倉丙252
- 5 女子学生寮 (かつら寮)** / 高知市曙町1-16-1
- 6 女子学生寮 (ときわ寮)** / 高知市朝倉東町46-33
- 7 教育学部附属小学校・中学校・幼稚園**
 高知市小津町10-13・高知市小津町10-91・高知市小津町10-26
- 8 農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター**
 教育実習実験研究施設/
 香美市土佐山田町上穴内字栗石20-2
- 9 宇佐野外活動施設** / 土佐市宇佐町東町浜3 159-5
- 10 海洋生物研究教育施設** / 土佐市宇佐町井尻194
- 11 艇庫**

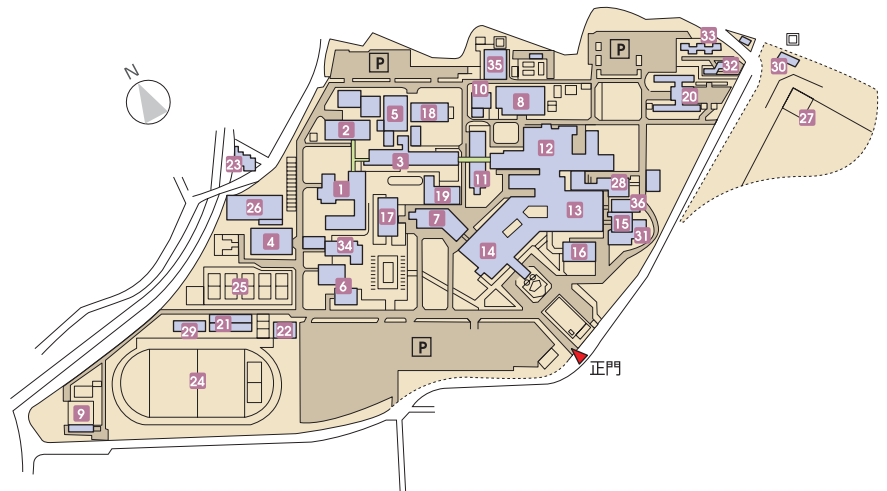
朝倉キャンパス (人文学部/教育学部/理学部)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 事務局棟 (学務部入試課) | 19. メディアの森
[総合情報センター(図書館)] |
| 2. 非常勤講師宿泊所 | 20. 学生会館 |
| 3. 保健管理センター | 21. 体育館 |
| 4. 総合研究棟 | 22. 理学部附属高知地震観測所 |
| 5. 教育学部2号館 | 23. 理学部附属水熱化学実験所 |
| 6. 教育学部3号館 | 24. 国際・地域連携センター |
| 7. 教育学部4号館 | 25. 体育館 |
| 8. 教育学部51番教室 | 26. 教育学部附属特別支援学校校舎 |
| 9. 教育学部音楽棟 | 27. 教育学部附属特別支援学校
日常生活訓練施設 |
| 10. 教育学部附属教育実践総合センター | 28. プール |
| 11. プール | 29. 留学室・施設企画課 |
| 12. 理学部情報科学棟 | |
| 13. 理学部1号館 | |
| 14. 理学部2号館 | |
| 15. 共通教育1号館 | |
| 16. 共通教育2号館 | |
| 17. 共通教育3号館・学生サービスセンター | |
| 18. 人文学部管理棟・学生サービスセンター | |



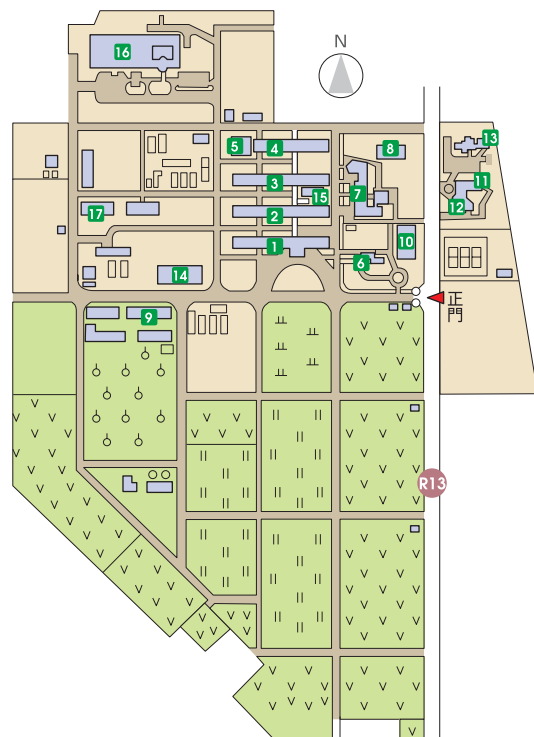
岡豊キャンパス (医学部)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 講義棟 | 19. 附属医学情報センター |
| 2. 実習棟 | 20. 職員宿舎 |
| 3. 基礎・臨床研究棟 | 21. 課外活動共用施設 |
| 4. 体育館 | 22. 武道場 |
| 5. RI・動物実験施設 | 23. 非常勤講師宿泊施設 |
| 6. 学生会館 | 24. 陸上競技場 |
| 7. 管理棟 | 25. テニスコート |
| 8. 中央機械室 | 26. プール |
| 9. 排水処理施設 | 27. 野球場 |
| 10. 車庫 | 28. RI治療施設・院内保育所 |
| 11. 臨床講義棟 | 29. 弓道場 |
| 12. 病棟 | 30. 野球場附属施設 |
| 13. 中央診療棟 | 31. MRI-CT装置棟 |
| 14. 外来診療棟 | 32. 国際交流会館 (単身・共用棟) |
| 15. 高エネルギー治療施設 | 33. 国際交流会館 (世帯棟) |
| 16. 食堂棟 | 34. 看護学科棟 |
| 17. 図書館 (医学部分館) | 35. 発電機棟 |
| 18. 大学院研究棟 | 36. PETセンター |



物部キャンパス (農学部)

- | |
|--|
| 1. 農学部1号棟 |
| 2. 農学部2号棟 |
| 3. 農学部3号棟 |
| 4. 農学部4号棟 |
| 5. 実験研究棟 |
| 6. 厚生会館 |
| 7. メディアの森農学部分館 [総合情報センター(図書館)]
及び講義室棟 |
| 8. 福利厚生会館 |
| 9. 附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター |
| 10. 体育館 |
| 11. 日章寮 |
| 12. 留学生寄宿舍 |
| 13. 国際交流会館 |
| 14. 遺伝子実験施設 |
| 15. 共同利用機器分析室棟 |
| 16. 海洋コア総合研究センター |
| 17. 黒潮圏海洋科学研究科棟 |



Faculty of Humanities and Economics

Faculty of Education

Faculty of Science

Medical School

Faculty of Agriculture

インターネット 高知大学ホームページアドレス

<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。
入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。

入学者選抜に関するお問い合わせ先(ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

入試情報サイト <http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学務課 TEL 088-844-8149

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

E-mail gm05@kochi-u.ac.jp

●表紙デザインは、平成17年度「高知大学 学生募集ポスターデザインコンテスト」の入賞作品の一部を使用して制作しています。

ポスター制作者：浦志 知香子、櫻村 彩加(平成17年度卒業生)

高知大学案内

発行日 2007年4月 / 発行 高知大学広報室 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp
エディトリアル・デザイン FACTORY Co.,Ltd